２０１３
１２月版

アイジーウッドサイディング

モダンウッド®（縦）

施工説明書

（木造下地）

施工前にこの施工説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。

目次

事故防止のために

モダンウッドは壁材です。壁以外の部位に使用しないでください。

死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

１.強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。
風にあおられる・雨や雪ですべるなどの原因で、落下事故の可能性があります。

２.高所作業は関係法規に従ってください。事故の可能性があります。

取り扱いをあやまると障害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

１.取り扱いの際はゴム付き手袋や保護眼鏡などの保護具を着用してください。ケガをする可能性があります。

２.現場加工時、105用断熱プレートiの切断面に生じたバリは取り除いてください。ケガをする可能性があります。

３.防水のため、105用断熱プレートiを施工の際は、働き幅による割り付けを行ってください。

４.商品に、溶接の炎、火花などが当たると引火するおそれがありますので、養生するなど特に注意してください。

５.防火のため、加熱箇所との取り合いには、めがね石など有効な部材を使用してください。

６.包装材・105用断熱プレートiの残材などは産業廃棄物、モダンウッド本体は木質系廃棄物と同じ処理方法で処分してください。

７.シーリング・タッチアップペイントなどは安全データシート(SDS)に従って正しく使用してください。

８.電動工具など、工具を使用の際は、各工具の取扱説明書に従って正しく使用してください。

９.真夏の日射が強い時は、105用断熱プレートiの表面温度が高くなり、やけどのおそれがありますので注意してください。

1．取り扱い時のお願い

アイジーウッドサイディング（モダンウッドの本体、モダンウッド用見切り材）は無垢材のため、節の大きさ・木目の色や表情にばらつきがあります。また、商品引渡し後（保管中・施工途中・施工後）の反り・割れ・節抜け・伸縮・変色・腐食・カビなどの発生に関するクレーム、返品、交換などは一切受けておりませんのでご了承ください。

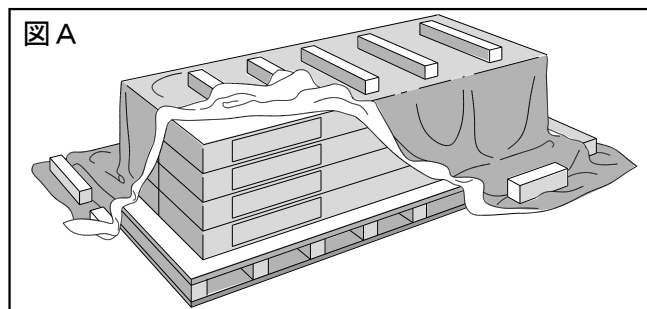
●設計上の注意

モダンウッドを、次のような部位や施工方法で使用しないでください。性能、機能の低下など不具合を招く原因となります。

・商品を斜めに施工すること、または横張りで張るなど指定張り方向以外での使用。
・屋根などの外壁以外の部位での使用。
・傾斜のあるパラペットへの使用。
・105用断熱プレートiに、銅屋根などの異種金属からの雨水が接触する部位での使用（電食が起こる場合があります。異種金属との取り合いには十分注意してください）。
・R面での使用（耐風圧強度の低下、雨水の浸入の原因になります）。
・煙突回りなど加熱箇所での使用（防火のために、めがね石など有効な部材を使用してください）。
・笠木の外勾配の施工（外勾配にすると大量の雨水が商品表面を流れ、汚れの付着や劣化が早まります）。
・透湿防水シートを張らないで施工すること。
・十分な出幅のない見切り部材の上部にモダンウッドを張り、下部に金属サイディングまたはその他の材料を張り合わせること（本体、モダンウッド用見切り材は、無垢材ですので、灰汁が流れることがあります。見切り部には十分な出幅の水切を使用してください）。
・純正付属品以外で施工すること（純正付属品以外の部材では十分な性能が得られないことがあります）。
・メンテナンスのしにくい部位へ使用すること（モダンウッドは定期的なメンテナンスが必要です）。

●運搬、保管上の注意

・梱包された商品を持つ際には、ＰＰバンドを持たないでください。
・105用断熱プレートiを手で持つ際は、小端立てにして運んでください。
・車両による運搬時には、荷台に突起物や濡れ、汚れがないことを確認した上で、平積みにしてください。
・急ブレーキなどによる荷崩れ、損傷を防ぐため、ロープをかけ、角には必ず当て板を入れてください。
・ロープの締め付けが強すぎると商品の破損につながるおそれがあります。過度の締め付けは避けてください。
・パレット荷下ろしの際、結束材の破損がないことを確認の上、作業を行ってください。
・商品の保管は、雨水、湿気などの影響を受けない、風通しのよい屋内の平らな場所で行ってください。
・屋外に保管する際には、雨ざらし保管は厳禁です。地面に直接置く行為は、変色・シミ・反りなどの原因となります。パレットあるいはりん木の上に合板を重ねた水平面に置き、さらに防水シートなどで覆ってください。（図Ａ参照）
・開封後、直射日光に当てることは日焼けなどの原因となりますので注意してください。
・開封後はすみやかに施工してください。
・商品が破損するおそれがありますので、次のような行為は避けてください。
　■商品を放り投げる、または落とすこと。
　■商品の上に人が乗る、または重量物を載せること。
　■商品の片方をりん木やトラックのあおりなどに乗せて斜めに置き、保管や運搬すること。
　■商品をりん木やフォークリフトのつめに直に置き、2点支えにすること。
　■商品より小さなパレットを使用すること（パレットの角で商品が破損するおそれがあります）。

図Ａ

●施工上の注意

「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」について
　住宅の防水に関する施工方法は、加入している住宅瑕疵担保責任保険法人の設計施工基準を確認してください。

・すり傷防止のために、商品表面を直に地面に置く、金属製足場など硬いものなどで擦るなどの行為は避けてください。
・配管、樋などを外壁に取り付けるときには、必ず躯体に固定してください。本体や105用断熱プレートiへは固定しないでください。
・換気口やエアコン配管の取り付けのために商品に穴をあけた際は、有効な防水処理を行ってください。

＜105用断熱プレートi＞

・現場で切断した際に出る切粉はさびの原因となりますので、ハケ、ブロアーなどで取り除いてください。
・シーリング材は指定箇所に必ず施工してください。
・尖った物などで105用断熱プレートiのアルミライナー紙が損傷した場合は、必要に応じて市販のアルミテープなどで補修してください。
・しん材やアルミライナー紙には水をかけないでください。
・塗装が傷みますので、商品表面に切断時の切粉、火花などを当てないでください。
・施工する前に働き幅で墨出しを行い、その墨に合わせて施工してください。
・取り付けに使用するくぎ、ねじ類は、ステンレス製を推奨します。
・105用断熱プレートiを取り付ける胴縁の出入り（不陸）により、仕上がりの意匠に影響が出る場合があります。隣り合う胴縁の不陸は、木造下地の場合は2mm以内に抑えてください。また、胴縁同士のつなぎ目の不陸も同様です。
・105用断熱プレートiに室内側から何らかの力が加わると、仕上がりの意匠に影響がでる場合があります。取り付け面に突起物がないことを確認し施工してください。また、躯体と105用断熱プレートiとの間に充てん材などを施工する場合は、105用断熱プレートiに充てん材などの反発力が作用しない構造としてください。
・開口部などで本体を切り欠く際は、各部材の位置を確認し本体に無理な力がかからないように切り欠き寸法を設定し切断してください。また、本体を変形させるような無理なはめ込みは避けてください。
・本体を切り欠き加工すると強度が低下し破損しやすくなります。持ち運び時には切り欠き部に当て板を当てるなどして、破損しないように注意してください。オスメス両側を切り欠いた際は特に注意してください。

＜本体、モダンウッド用見切り材＞

・本体やモダンウッド用見切り材の切断、加工に出るオガ屑は微粉になりますので、作業の際には吸引したり、目や耳に入ったりしないよう注意してください。
・切断などを行った本体、モダンウッド用見切り材は、加工時の粉などを落としてから施工してください。水で濡れた場合は、十分に乾燥させてから施工してください。
・本体、モダンウッド用見切り材は無垢材です。傷・割れ・へこみが付くおそれがありますので移動や運搬などの取り扱いには十分注意してください。また、本体、モダンウッド用見切り材は無塗装品ですので、汚れが付着しやすい状態です。汚れにくい作業環境での取り扱いをお願いします。

＜本体やモダンウッド用見切り材の塗装について＞

・塗料は、市販の木材保護剤（含浸タイプ）を使い確実に行ってください。使用する塗料メーカーの施工要領に従って確実に行ってください。
・初回の塗装は、施工前に表裏両面及びサネ部や木口面にも行ってください。
・クリアー塗料は、紫外線による変色、劣化が早いため十分に注意してください。
・ウレタンまたはアクリル系塗料は、干割れなどが発生するため使用しないでください。
・土台水切に近い部分は、雨返しなどにより、カビ・汚れが付着しやすいため特に念入りに塗装してください。
・施工前に仮並べを行い、色調の偏りや節の集中が無い様に配置を考慮してください。
・塗装後は、十分乾燥するまで、ほこりなどの飛散物が付かないように注意してください。また、完成後にウエスなどで乾拭きしてください。

●廃棄物の処理

・包装材、105用断熱プレートiの残材などは産業廃棄物として処分してください。
・本体、モダンウッド用見切り材は木質系廃棄物と同じ処理方法で処分してください。

●メンテナンス

・本体やモダンウッド用見切り材は無垢材ですので、経年的な変化をメンテナンスしながら使用して頂くことが必須条件となります。メンテナンスは①洗浄により表面の汚れなどを落とした後②再塗装が必要です。
①商品表面を洗浄する場合は、デッキブラシなどでの水洗浄を行い、本体やモダンウッド用見切り材が十分に乾燥したことを確認し、サンドペーパー(＃180)で表面が滑らかになるように研磨を行ってください。
酸性やアルカリ性の洗剤は、本体やモダンウッド用見切り材、105用断熱プレートiを傷め、変色・腐食を招くおそれがあります。また、洗浄用具として、金属たわしなど硬いものは使用しないでください。本体やモダンウッド用見切り材表面に傷が付く場合があります。
②再塗装の時期は建物の立地条件やご使用の塗料などにより異なります。再塗装の際も、塗料メーカーのマニュアルに従い、確実に行ってください。
・再塗装による塗り替えは雨天時には行わないでください。塗料が、雨水によって流れ落ちるおそれがあります。
・モダンウッドを金属サイディングまたはその他の材料と張り合わせている場合、洗浄時に発生する汚れや塗り替え塗料が張り合わせの材料に付着しないよう注意してください。
・積雪地域では、積った雪の水分で本体、モダンウッド用見切り材に、シミ・変色・腐食が発生する場合があります。できるだけ早く除雪してください。

●防水について

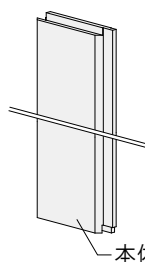
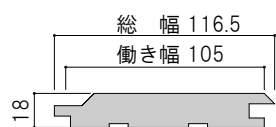
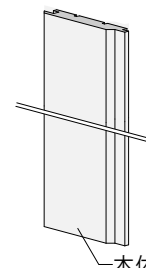
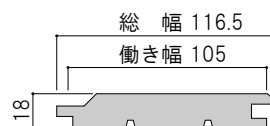
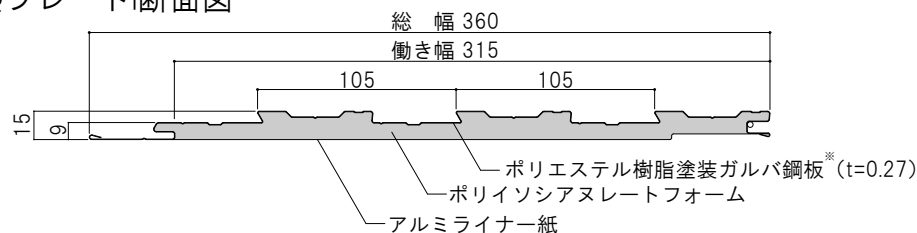
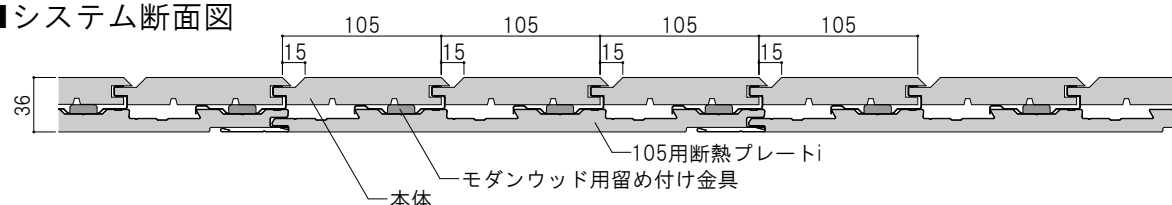
・シーリング材は2～3年を目安に点検してください。経年変化による劣化で、切れが生じる場合あります。切れている場合は、補修し雨水の浸入を未然に防いでください。

●その他

・日射による熱の影響で、朝・夕の温度変化時に、表面鋼板の伸縮により、かん合部などからまれに音が発生する場合があります。

２．本体規格

○形状断面図

単位：mm

※ガルバ鋼板は、55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板でアイジー工業(株)の登録商標です。

○本体規格

材質	仕様	張り方向	厚さ	働き幅	総幅	長さ	重量	入り数	入り数面積
ひのき [国産ひのき]	無塗装 人工乾燥材 節あり	縦張り	18mm	105mm	116.5mm	1,820mm	9kg/㎡	10枚	1.92㎡
杉 [秋田杉]	無塗装 人工乾燥材 節あり(パッチ補修あり)	縦張り	18mm	105mm	116.5mm	3,640mm	6kg/㎡	8枚	3.06㎡

○下地規格

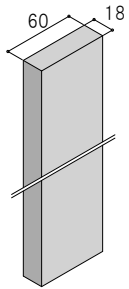
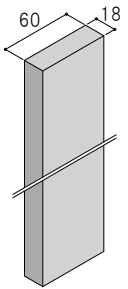
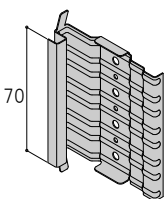
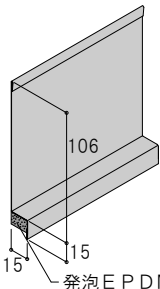
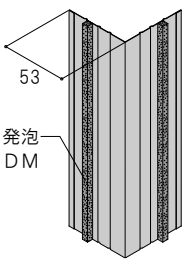
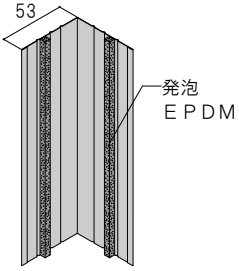
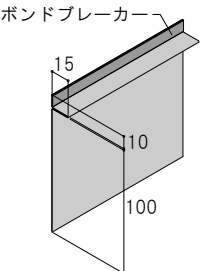
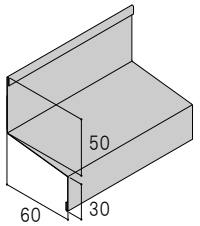
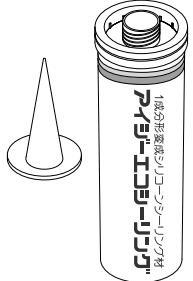
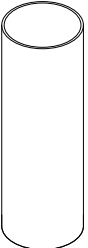
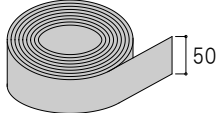
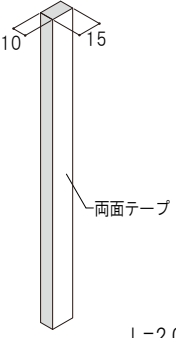
商品名	塗装	張り方向	厚さ	働き幅	総幅	長さ	重量	入り数	入り数面積
105用断熱プレートi	単色（ブラック）	縦張り	15mm	315mm	360mm	3,000mm	4kg/㎡	8枚	7.56㎡

○物性表

本体+105用断熱プレートi

特性		性能値	試験方法	備考
水密性能		550Pa以上（ 56kgf/㎡ 以上 ）	JIS-A-1414	平均圧力
耐風圧性能	正圧	3,000Pa以上（ 305kgf/㎡ 以上）	空気圧による 等分布荷重	胴縁15×45mm(@455mm) 留め付けくぎ：N50
	負圧	3,441Pa（ 351kgf/㎡ ）※1		

上記データは、性能参考値です。環境によって異なった数値になる場合があります。

○留め具

	種類	材質	寸法
105用断熱プレートi	木ねじ※2	ステンレスまたは亜鉛めっき	φ2.75×L50mm以上
	くぎ	ステンレスまたは亜鉛めっき	φ2.75×L50mm以上
モダンウッド用留め付け金具	木ねじ※2	ステンレス	φ2.15×L38mm以上
	くぎ	ステンレス	φ2.75×L50mm以上

※1：破壊値です。設計に際しては十分な安全率を見込んでください。
※2：木ねじは胴縁を貫通する長さとしてください。防耐火構造を必要とする場合は、防耐火構造認定に従ってください。

３．付属品規格

単位：mm

商品名	モダンウッド用見切り材(ひのき)	モダンウッド用見切り材(杉)	モダンウッド用留め付け金具	ジョイナーＤＰ(Ⅱ)
規格図	60 18 L=1,950	60 18 L=3,640	70 使用個数：約16個/m²	106 15 15 発泡ＥＰＤＭ L=3,030
適用部位	出隅・軒天	出隅・軒天	-	縦継ぎ
材質	ひのき	杉	SUS304	ガルバ鋼板※
梱包単位	5枚/箱	5枚/箱	50個/箱	10本/包

商品名	出隅捨板ＤＰ	入隅捨板ＤＰ	開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)	通気水切25(注)
規格図	53 発泡ＥＰＤＭ L=3,030	53 発泡ＥＰＤＭ L=3,030	ボンドブレーカー 15 10 100 L=3,030	50 60 30 色：Fネオホワイト・Fネオブラック L=3,030
適用部位	出隅	入隅	開口部	土台
材質	ガルバ鋼板※	ガルバ鋼板※	ガルバ鋼板※	ガルバ鋼板※
梱包単位	10本/包	10本/包	10本/箱	10本/箱

商品名	エコシーリング	エコシーリングホルダー	防水テープＤ	パッキン材C
規格図	1成分形変成シリコーンシーリング材 アイジーエコシーリング 別売りホルダーが無いと使用できません 色:ブラック　内容量:320ml		50 L = 20m	10 15 両面テープ L=2,000
適用部位	-	-	開口部	開口部・軒部
材質	変成シリコーン	-	片面粘着ブチルゴム	発泡ＥＰＤＭ
梱包単位	10本/箱	2本/箱	1巻	10本/包

材質は、ポリエステル樹脂塗装ガルバ鋼板※(t=0.35mm) です。※ガルバ鋼板は、55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板でアイジー工業(株)の登録商標です。
(注) 通気水切25は、材質が遮熱フッ素樹脂塗装ガルバ鋼板※の商品です。

４．認定関係

防火構造認定

モダンウッドの構造認定です。詳細については各仕様の記載ページをご覧ください。
不明な点は最寄りの営業所に確認してください。

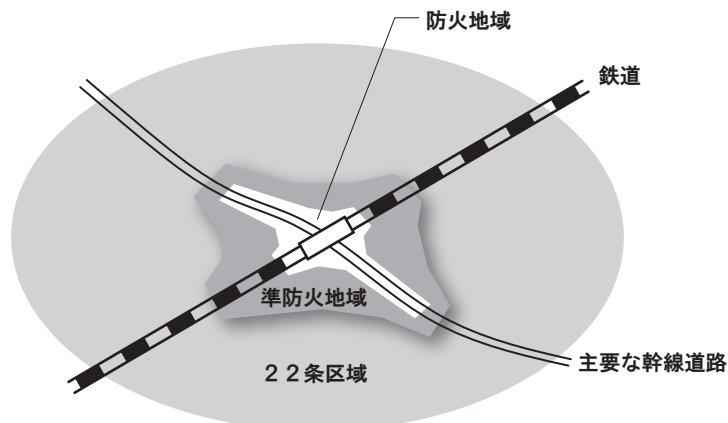
木造下地【軸組工法】

構造	仕様名	認定番号	記載ページ
準防火構造	外張断熱通気軸組仕様	QP020BE-0038	P8
防火構造	充てん断熱通気軸組仕様	PC030BE-0703	P9

木造下地【枠組工法】

構造	仕様名	認定番号	記載ページ
防火構造	充てん断熱通気枠組仕様	PC030BE-0704	P9

地域の制限

建築基準法では、個々の建築物の火災による延焼を防止するために、第22条に基づいた地域（22条区域）を定めています。また、都市計画により市街地における火災の拡大を防ぐために、大きな都市の駅周辺など、建築物が密集している地域を防火地域、その周囲に準防火地域が指定されており、各地域、規模及び用途などに応じ、建築物の防耐火構造が規定されています。

建築基準法の制限

建築基準法において建築物は、その地域及び用途・規模・階数などにより必要な防耐火構造が規定されております。

（1）アイジーウッドサイディング　「モダンウッド」　認定取得範囲

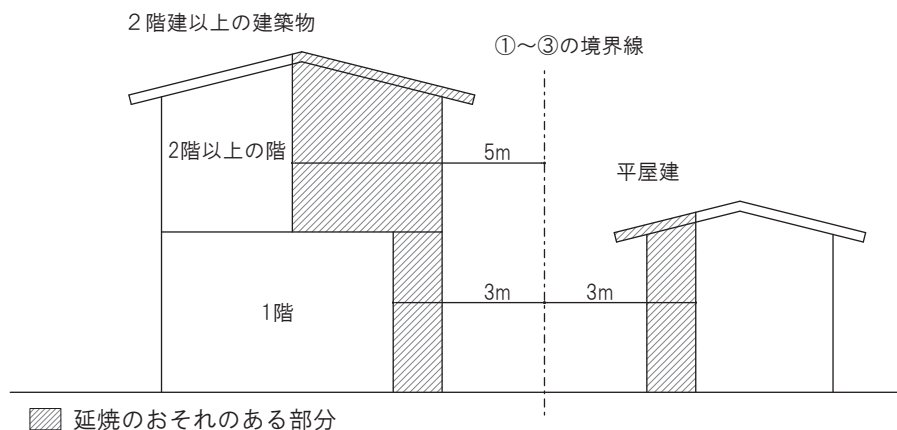
■木造下地

<table>
<tr><th>用途</th><th>地域</th><th>延床面積(s)㎡
階数</th><th>S≦100</th><th>100<S≦500</th><th>500<S≦1000</th><th>1000<S≦1500</th><th>1500<S≦3000</th><th>3000<S</th></tr>
<tr><td rowspan="6">共同住宅</td><td rowspan="2">防火地域</td><td>3階建</td><td></td><td colspan="5" rowspan="2">耐火構造(法61条)</td></tr>
<tr><td>1,2階建</td><td>45分準耐火構造(法61条)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">準防火地域</td><td>3階建</td><td colspan="4">1時間準耐火構造(法27条、令115条2の2)</td><td colspan="2" rowspan="2">耐火構造(法62条)</td></tr>
<tr><td>1,2階建</td><td>防火構造※1(法62条)</td><td>2階が300㎡以上
(法27条2項)</td><td colspan="2">45分準耐火構造(法62条)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">22条区域</td><td>3階建</td><td colspan="5">1時間準耐火構造(法27条、令115条2の2)</td><td rowspan="2">耐火構造
(法21条2項)</td></tr>
<tr><td>1,2階建</td><td>準防火構造※1(法23条)</td><td colspan="4">45分準耐火構造(法27条2項)2階が300㎡以上
2階建で200㎡を超えかつ2階300㎡未満(法24条)
防火構造※1(法25条)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">戸建住宅</td><td rowspan="2">防火地域</td><td>3階建</td><td></td><td colspan="5" rowspan="2">耐火構造(法61条)</td></tr>
<tr><td>1,2階建</td><td>45分準耐火構造(法61条)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">準防火地域</td><td>3階建</td><td colspan="2">準防火3階建仕様(法62条、令136条の2)
防火構造＋内装せっこうボード12mm</td><td colspan="2" rowspan="2">45分準耐火構造(法62条)</td><td colspan="2" rowspan="2">耐火構造(法62条)</td></tr>
<tr><td>1,2階建</td><td colspan="2">防火構造※1(法62条)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">22条区域</td><td>3階建</td><td colspan="3" rowspan="2">準防火構造※1(法23条)</td><td colspan="2" rowspan="2">防火構造※1(法25条)</td><td rowspan="2">耐火構造
(法21条2項)</td></tr>
<tr><td>1,2階建</td></tr>
</table>

▬ 認定取得範囲です。

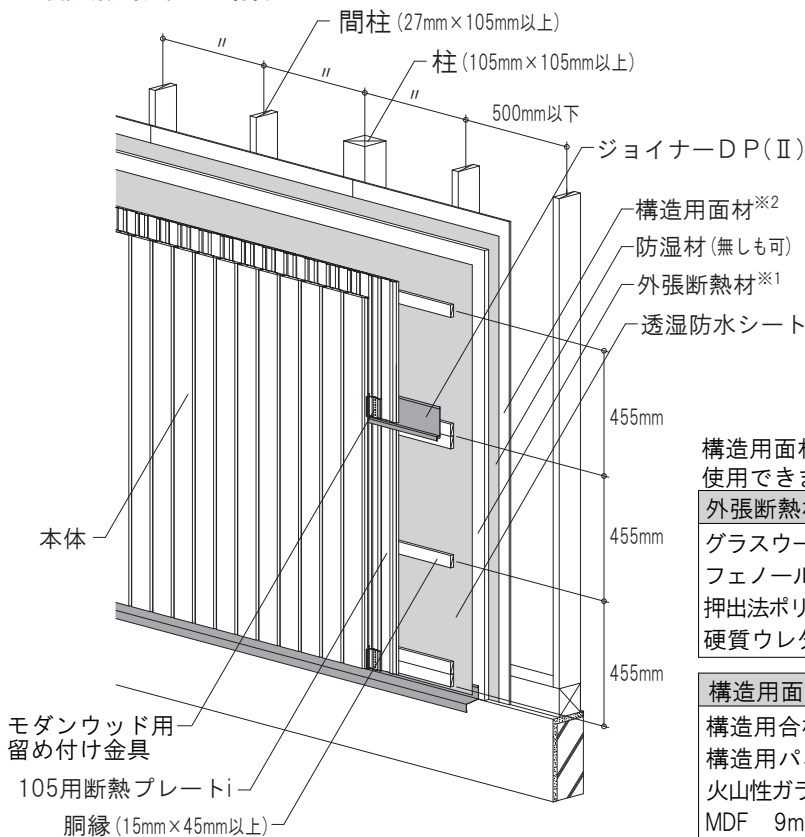
※1：「延焼のおそれのある部分」のみが対象になります。（2）延焼のある部分（法2条六号）を参照してください。
（注）高さ１３ｍまたは軒高さ９ｍ以上の木造建築物物は、地域にかかわらず一時間準耐火構造以上の性能が求められます。（法21条、令129条の２の３）
以上は、外壁のみに関する建築基準法の大まかな制限を表しています。建築基準法ではこれより詳細な制限を設けている条項があります。
また、自治体の条例などで建築基準法より厳しい制限が設けられている場合がありますので、計画の際は前もって管轄の行政庁にご確認ください。

（2）延焼のおそれのある部分（法2条六号）

防火地域など各地域の指定は、火災が周囲に広がるのを防ごうとするもので、特に延焼のおそれのある部分については、防耐火構造が強化されます。
延焼のおそれのある部分とは、①道路中心線、②隣地境界線または③同一敷地内にある2つ以上の建築物（延床面積の合計が500㎡以内であれば1つの建築物とみなされる）の相互の外壁間の中心線から、１階については3m以下、2階以上については5m以下の建築物の部分を指します。但し、防火上有効な公園､広場や耐火構造の壁などに面している部分は除かれます。

せっこうボードについて

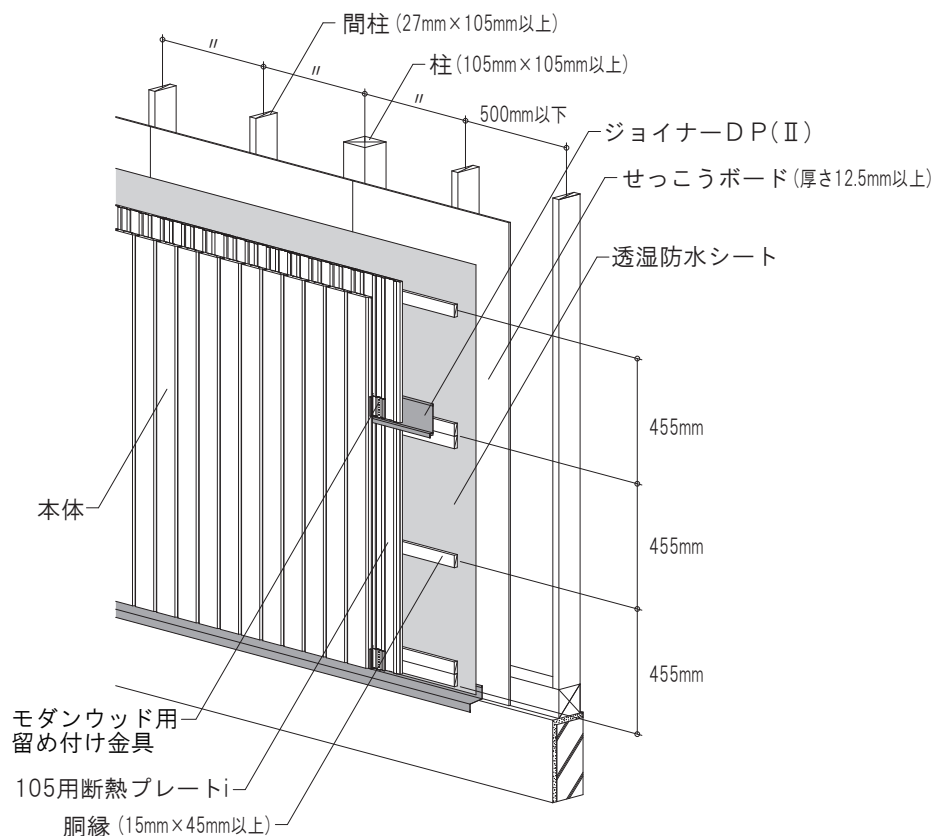
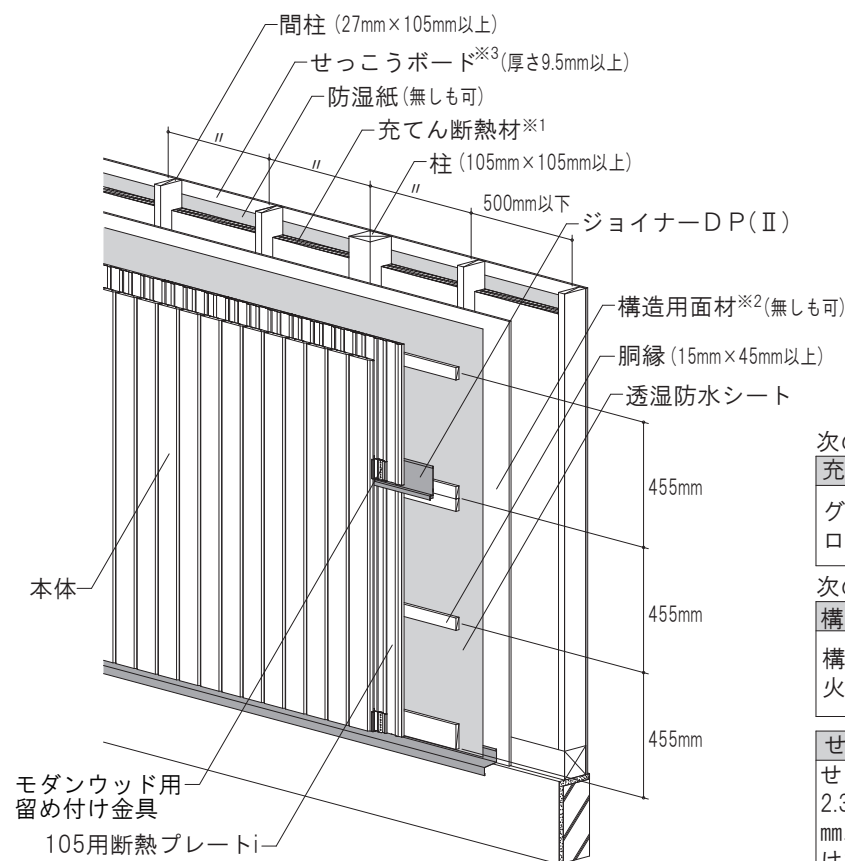
せっこうボードの目地部については、火災時の安全性向上のため、せっこうボードメーカーの推奨する適切な目地処理（乾式壁目地処理工法など）をお勧めします。

木造下地準防火構造　■外張断熱通気軸組仕様：QP020BE-0038

○外張断熱材ありの場合

構造用面材※2との組み合わせで次の外張断熱材が使用できます。

外張断熱材※1	
グラスウール保温板 フェノールフォーム保温板 押出法ポリスチレンフォーム保温板 硬質ウレタンフォーム保温板など	厚さ20mm以上 105mm以下

構造用面材※2
構造用合板　7.5mm以上 構造用パネル(OSB)　9mm以上 火山性ガラス質複層板HⅢ(JIS A 5440:2003)　9mm以上 MDF　9mm以上など

○外張断熱材なしの場合

間柱（27mm×105mm以上）
柱（105mm×105mm以上）
〃
〃
〃
500mm以下
ジョイナーＤＰ（Ⅱ）
せっこうボード（厚さ12.5mm以上）
透湿防水シート
455mm
455mm
455mm
本体
モダンウッド用
留め付け金具
105用断熱プレートi
胴縁（15mm×45mm以上）

木造下地防火構造　■充てん断熱通気軸組仕様：PC030BE－0703

間柱（27mm×105mm以上）
せっこうボード※3（厚さ9.5mm以上）
防湿紙（無しも可）
充てん断熱材※1
柱（105mm×105mm以上）
500mm以下
ジョイナーＤＰ（Ⅱ）
構造用面材※2（無しも可）
胴縁（15mm×45mm以上）
透湿防水シート
455mm
455mm
455mm
本体
モダンウッド用
留め付け金具
105用断熱プレートi

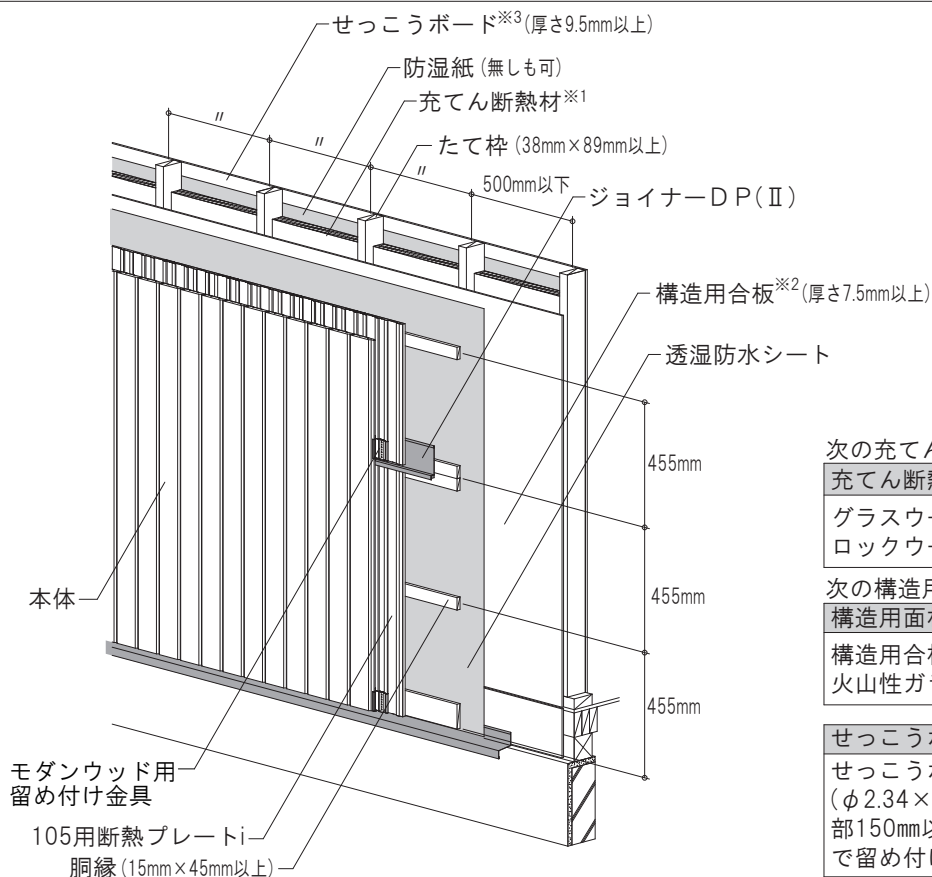
次の充てん断熱材が使用できます。

充てん断熱材※1	
グラスウール ロックウール	密度10kg/m³以上 厚さ50mm以上

次の構造用面材が使用できます。

構造用面材※2
構造用合板　構造用パネル(OSB) 火山性ガラス質複層板　MDFなど

せっこうボード※3
せっこうボードは、くぎまたは木ねじ（φ2.34×L38.7mm以上）を使用し、外周部150mm以下、中間部 200mm以下の間隔で留め付けてください。

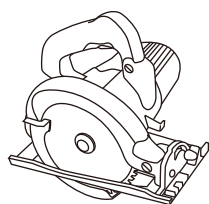
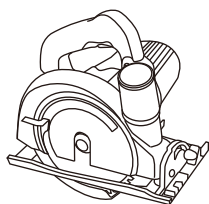
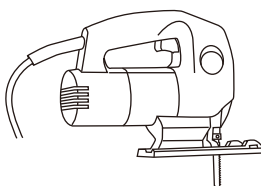
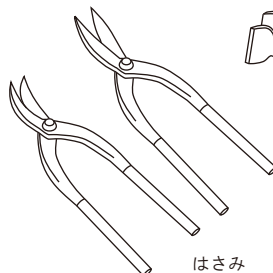
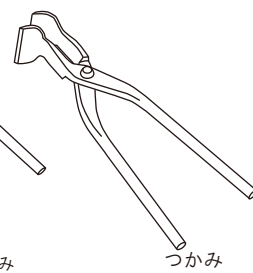
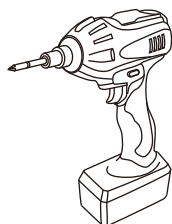
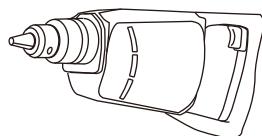
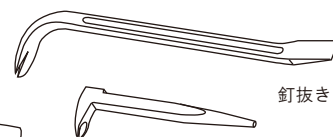
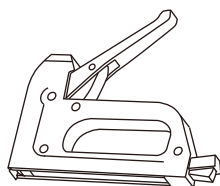
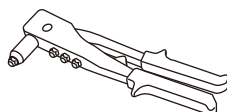
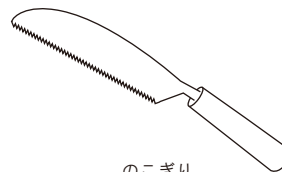
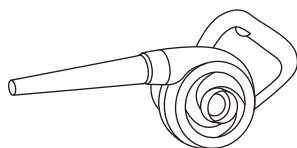
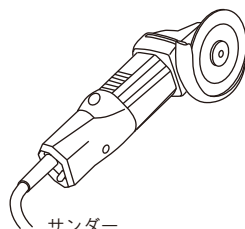
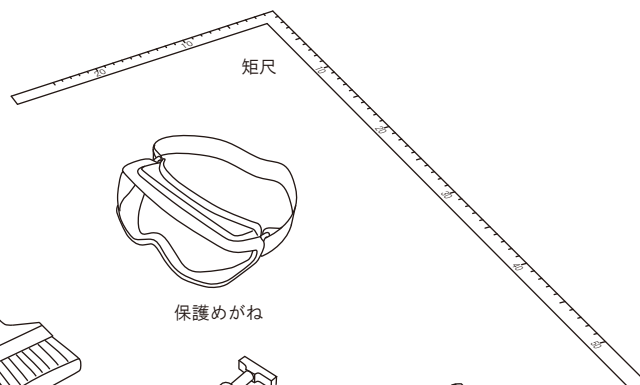
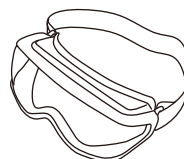
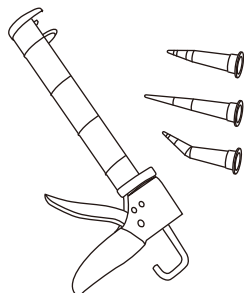
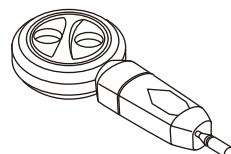
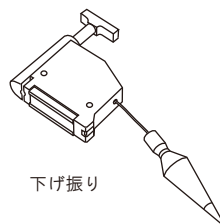
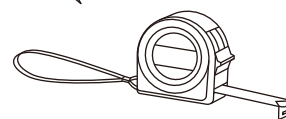
木造下地防火構造　■充てん断熱通気枠組仕様：PC030BE－0704

次の充てん断熱材が使用できます。

充てん断熱材※1	
グラスウール ロックウール	密度10kg/m³以上 厚さ50mm以上

次の構造用面材が使用できます。

構造用面材※2
構造用合板　構造用パネル(OSB) 火山性ガラス質複層板など

せっこうボード※3
せっこうボードは、くぎまたは木ねじ（φ2.34×L38.7mm以上）を使用し、外周部150mm以下、中間部 200mm以下の間隔で留め付けてください。

5．施工に必要な工具

⚠工具を使用の際は、各工具の取扱説明書に従って正しく使用してください。

⚠作業の際は必要に応じて保護眼鏡などの保護具を使用してください。

● 上記の工具は代表的なものであり、施工状況に合わせて他の工具が必要になる場合があります。

割り付け

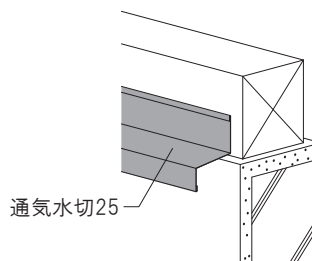
・デザイン、作業効率、材料のロス、開口部の位置などを考慮して、105用断熱プレートiの縦継ぎ位置を決めます。
・105用断熱プレートi、本体が極端に短くならないように、注意してください。鋼板のめくれや木材の割れなどが発生するおそれがあります。
・土台部、縦継ぎ部、開口部などは90mm幅の胴縁が必要になる場合があります。 使用する付属品の納まり図を参照の上、胴縁を手配してください。

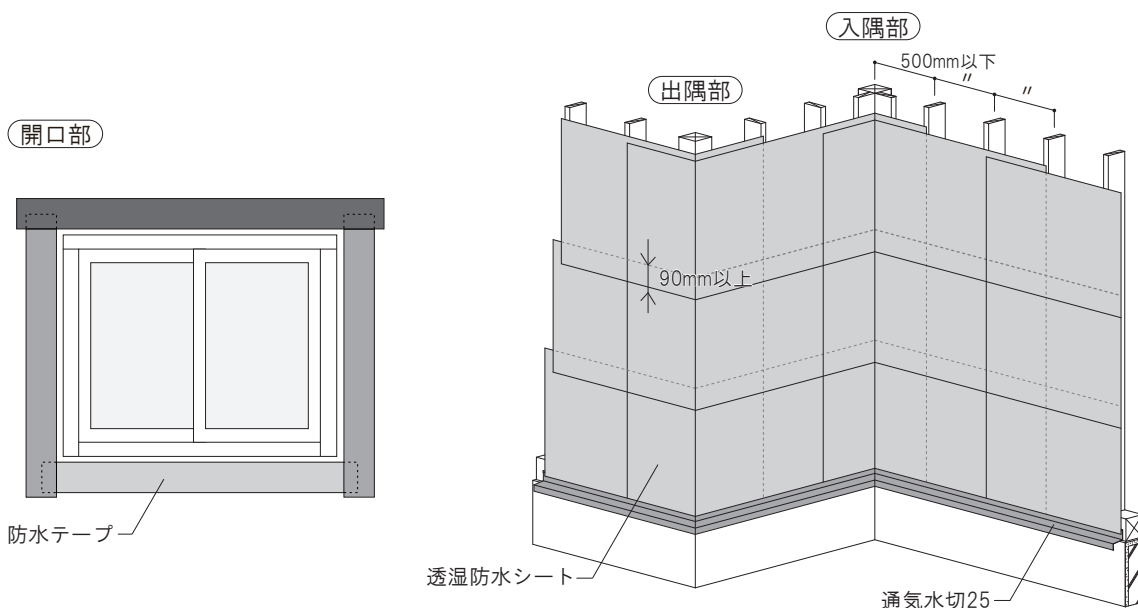
柱・間柱・サッシなどのチェック

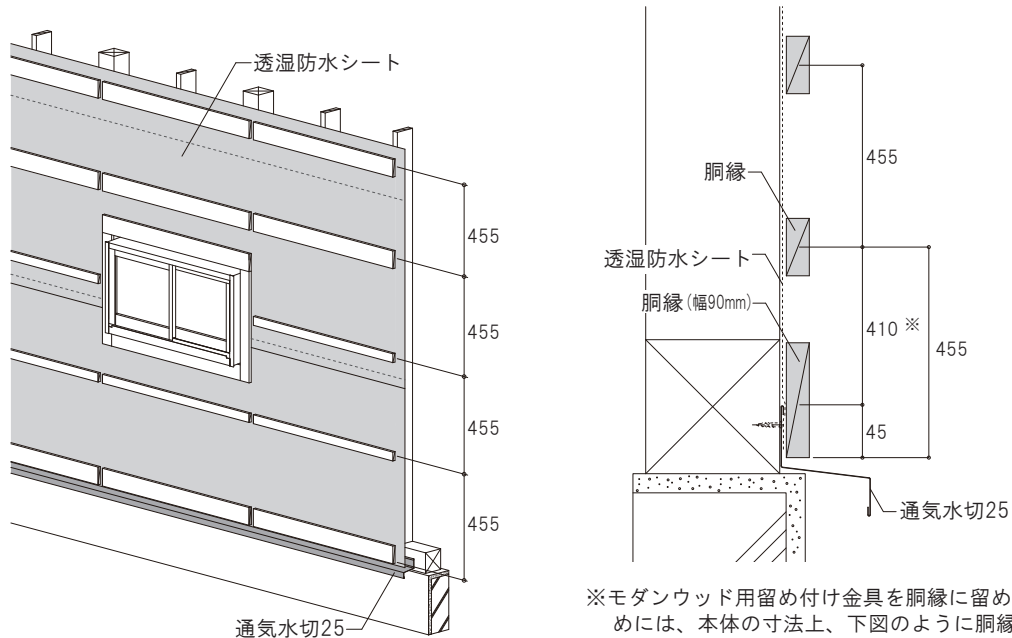
・柱、間柱の間隔は500mm以下としてください。
・入隅部、横継ぎ部などでは、胴縁の取り付け面を確保してください。
・サッシは、半外付けサッシまたは外付けサッシを使用してください。本体と胴縁の厚さの寸法を確認し、サッシを選定してください。
・サイディング本体に室内側から何らかの力が加わると、仕上がりの意匠に影響が出る場合があります。取り付け面に突起物がないことを確認してください。また、躯体とサイディング本体との間に充てん材などを施工する場合は、サイディング本体に充てん材などの反発力が作用しない構造としてください。

●全体の施工の流れ

1 水切の取り付け

・土台に通気水切25を取り付けてください。

2 透湿防水シート張り

・透湿防水シートは横張りを原則とし、下から上へ張り上げてください。
重ね合わせは鉛直方向で90mm以上、水平方向で耐力面材の無い場合は、間柱(柱)と間柱の間とし、耐力面材のある場合は150mm以上としてください。
・開口部ではサッシ枠周囲に両面防水テープを貼り、すき間ができないように透湿防水シートを密着してください。
・換気口、配管回りは防水テープを貼り、すき間ができないように透湿防水シートと密着してください。
・透湿防水シートは通気水切25の立ち上がり部に重ねて施工してください。

3 胴縁の施工

・胴縁（15㎜×45㎜以上）は柱、間柱、土台、桁材などに取り付けます。取り付け位置を割り付けてください。
・土台、縦継ぎ、軒部、開口部などは90㎜幅の胴縁が必要になる場合があります。
　使用する付属品の納まり図を参照の上、施工してください。
・本体（ひのき）の長さは1,820㎜、本体（杉）の長さ3,640㎜です。モダンウッド用留め付け金具の留め付け間隔は910㎜です。

※モダンウッド用留め付け金具を胴縁に留め付けるためには、本体の寸法上、下図のように胴縁を割り付ける必要があります。

4 墨出し

・105用断熱プレートiの働き幅で墨出しを行ってください。
　105用断熱プレートiの施工枚数が多くなる場合、商品及び施工の誤差により割り付け寸法がずれることがありますので、注意してください。105用断熱プレートiの割り付けがずれると、本体の施工に不具合がでるおそれがあります。

5 付属品の施工

次の部位に、付属品を施工してください。

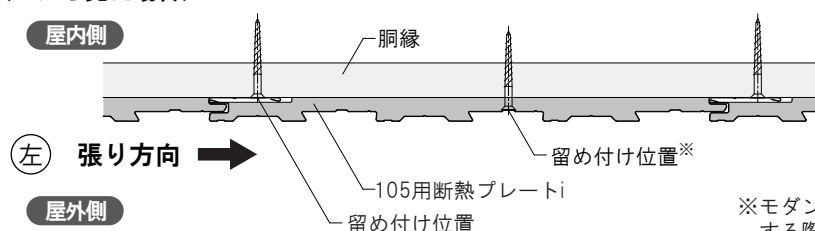
出隅部：出隅捨板ＤＰ	P20参照	軒　部：開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)	P23～24参照
入隅部：入隅捨板ＤＰ	P21参照	開口部：開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)	P27～28参照
縦継ぎ：ジョイナーＤＰ(Ⅱ)	P22参照		

6 シーリング材の施工

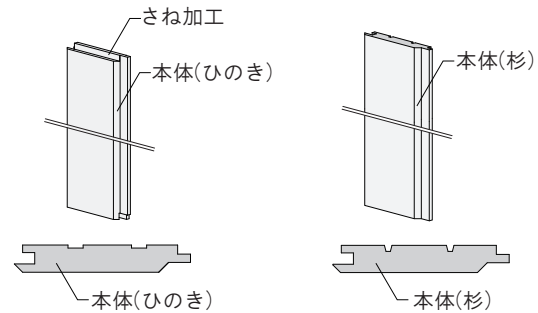
・開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)を施工する際は、シーリング材の施工が必要です。６．施工の手順とポイントの 9 開口部の施工（P16～18）及び７．納まり図（P23～28）を合わせて参照してください。

7 １０５用断熱プレートｉの施工

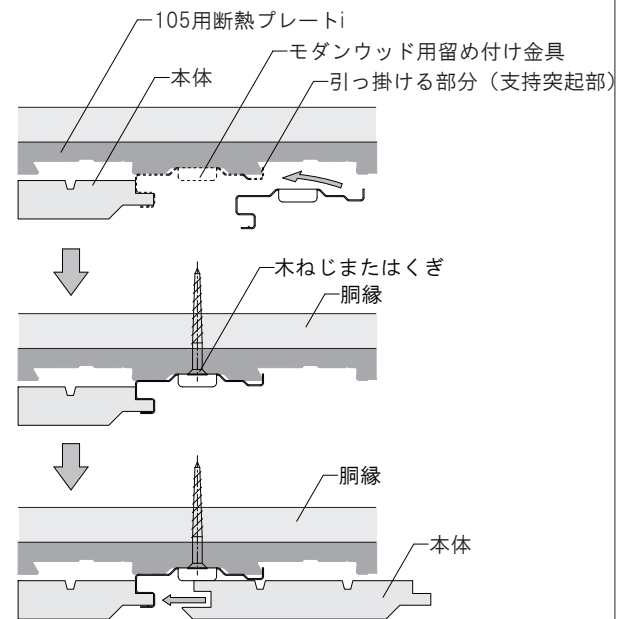
・105用断熱プレートiは水平方向に2箇所、垂直方向は胴縁ごと(455㎜間隔)に留め付けてください。（下図参照）
・施工期間中は雨水が、105用断熱プレートiの裏側に入らないよう養生してください。
・切断時に出るバリや切り粉はさびの原因となりますので必ず除去してください。
・105用断熱プレートiは左側から施工してください。
・壁面の終端などでは、105用断熱プレートiをはめ込むため10㎜程度のすき間が必要になりますので注意してください。

水平断面図（上から見た場合）

※モダンウッド用留め付け金具を施工する際の目安にもなります。

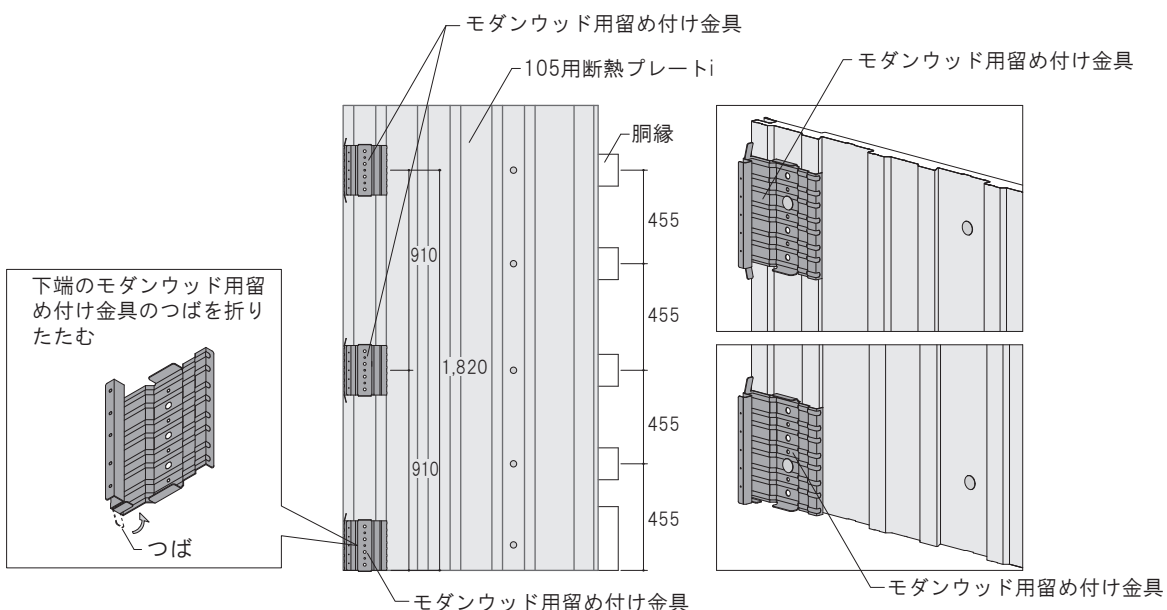
8 本体の施工

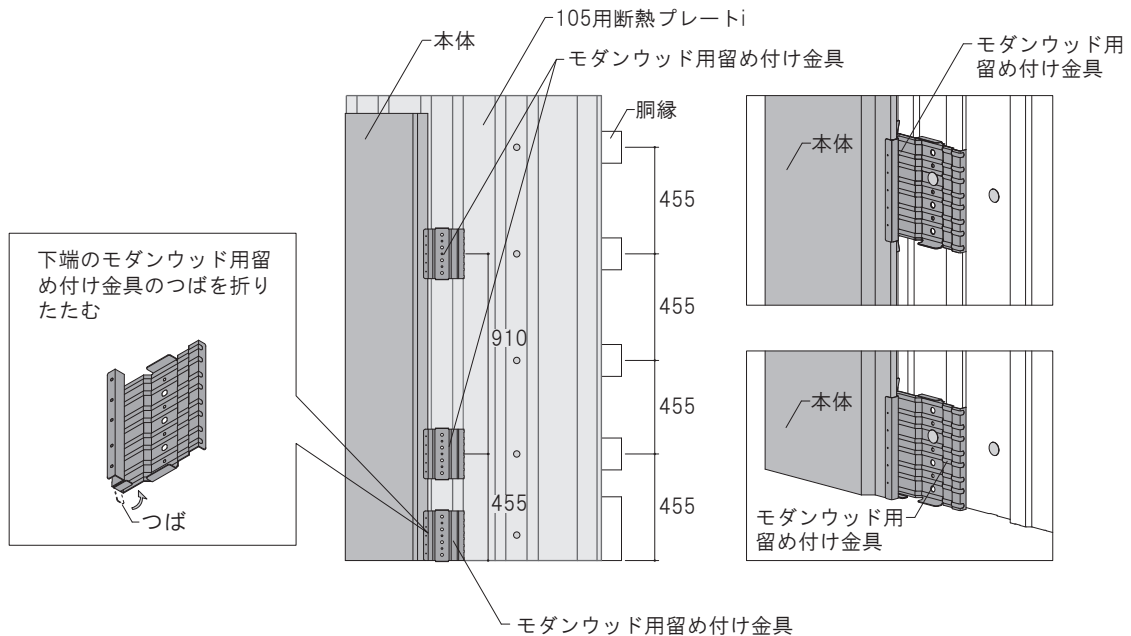
・本体（ひのき）は上下のさね加工があります。
　上下にさね加工がありますので加工せず継ぎ足せます。
　切断してつなぐ場合は、スカーフジョイント処理(P15)
　をしてください。
・本体（杉）は上下のさね加工がありません。
　上下でつなぐ場合は、スカーフジョイント処理(P15)
　をしてください。

○モダンウッド用留め付け金具の使用方法

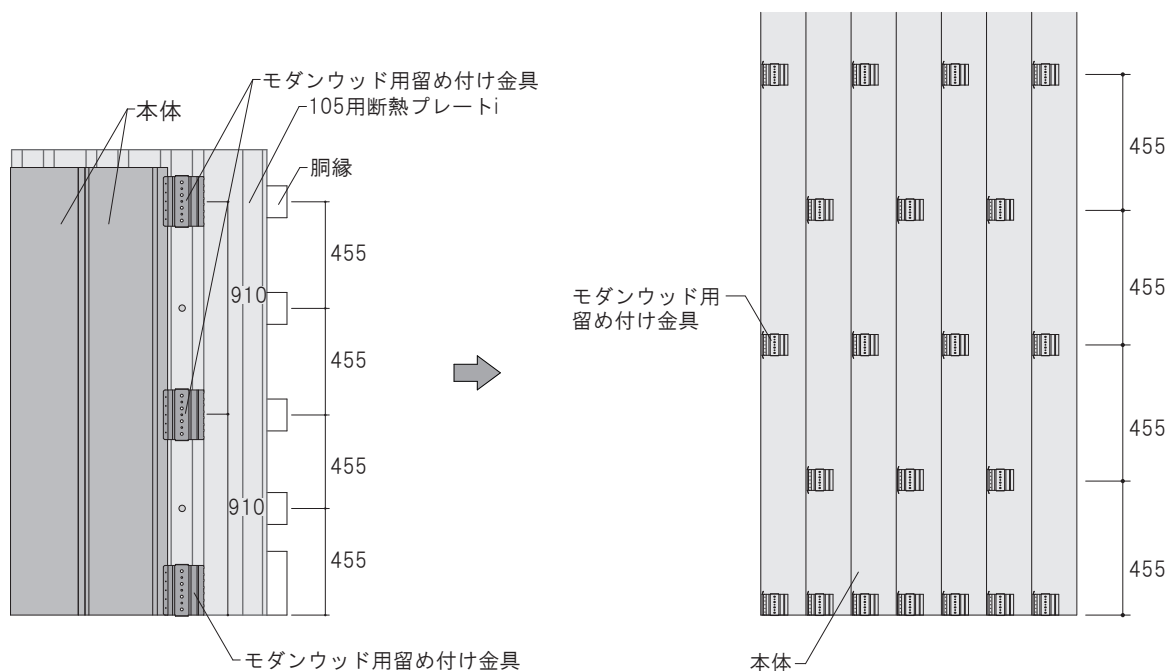
・本体を施工する際は、専用のモダンウッド用留め付け金具を使用してください。指定以外の施工方法では性能が確保されず不具合の原因となるおそれがあります。
・105用断熱プレートiの留め付けくぎを目安に、モダンウッド用留め付け金具の留め付け位置を確認してください。
・モダンウッド用留め付け金具の留め付け位置を確認したら、105用断熱プレートiの支持突起部に引っ掛け押さえるように密着させて、ステンレス製のくぎまたはビスで胴縁に留め付けてください。

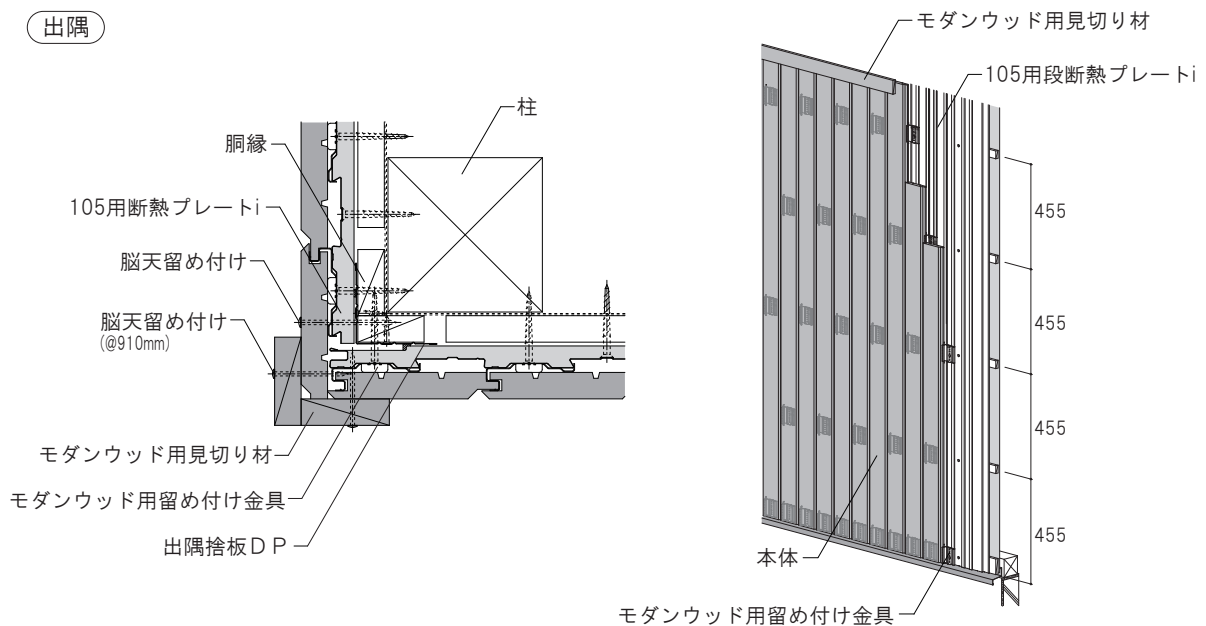
モダンウッド用留め付け金具は、必ず胴縁に留め付けてください。胴縁に留め付けられないと、性能が確保されず不具合の原因となるおそれがあります。

○モダンウッド用留め付け金具の施工位置関係

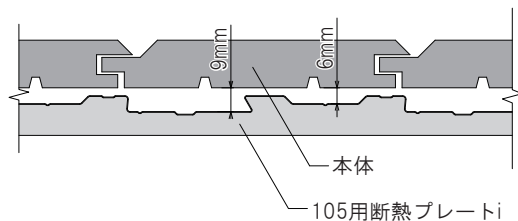
①スタート/モダンウッド用留め付け金具の施工

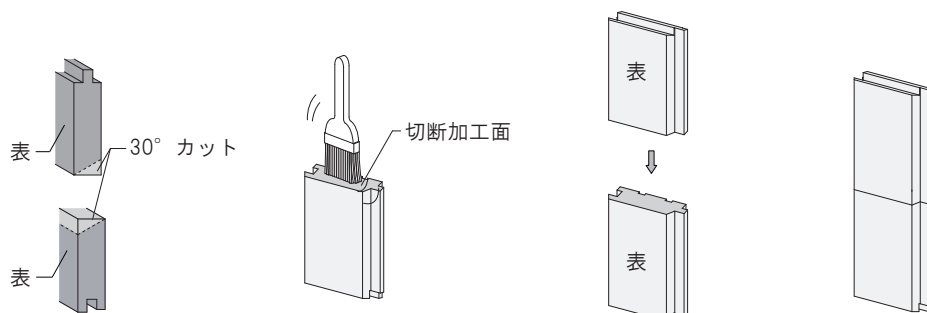
・一番下端のモダンウッド 用留め付け金具は、つばを折りたたみ施工してください。(本体のずれ防止のため)
　次に、105用断熱プレートiの左端列に、モダンウッド用留め付け金具を垂直方向に910㎜間隔で留め付けます。

② 1列目／本体の施工

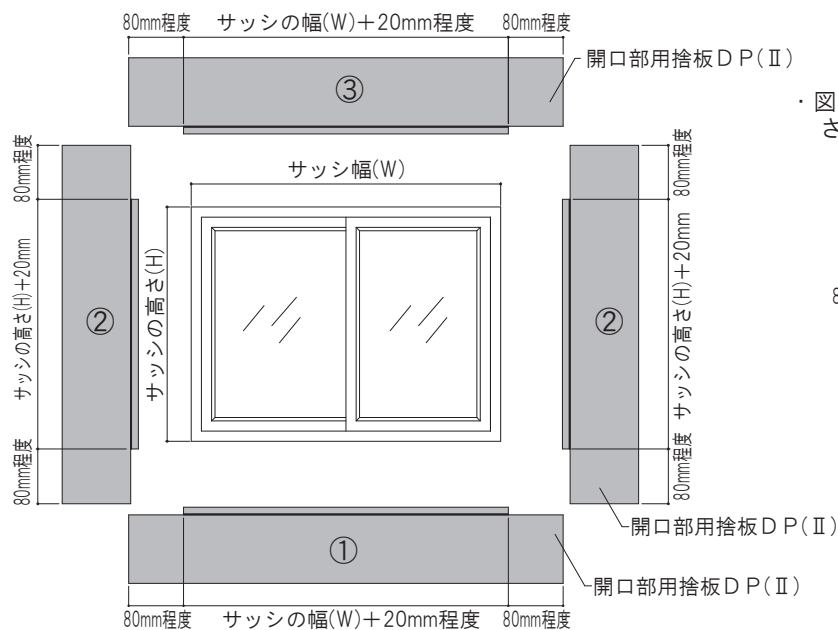
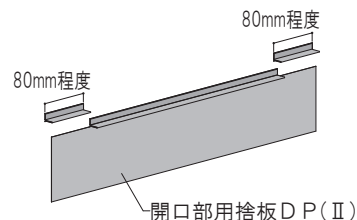
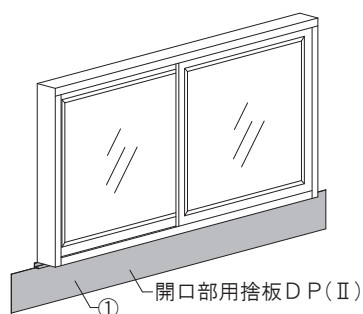
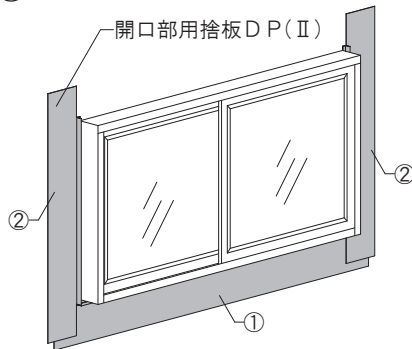
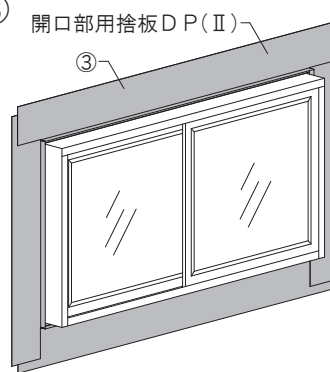
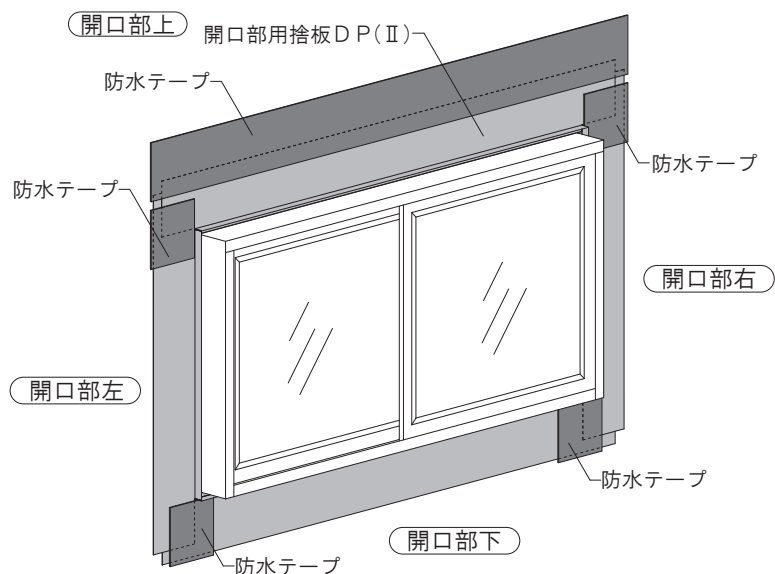
・本体を先に施工しているモダンウッド用留め付け金具にはめ込み、新たなモダンウッド用留め付け金具にて本体を固定してください。一番下端のモダンウッド 用留め付け金具は、つばを折りたたみ施工してください。（本体のずれ防止のため）
二つ目のモダンウッド用留め付け金具は、底部から455mmの位置から張り始めてください。その後は、910mm間隔で留め付けてください。

③ 2列目／本体の施工

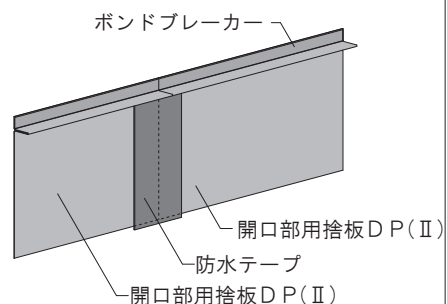
・ 本体を先に施工しているモダンウッド用留め付け金具にはめ込み、新たなモダンウッド用留め付け金具にて本体を固定してください。一番下端のモダンウッド 用留め付け金具は、つばを折りたたみ施工してください。（本体のずれ防止のため）
・モダンウッド用留め付け金具は、910mm間隔で留め付けてください。
・その後は、②と③の工程を繰り返し、本体を施工してください。
・モダンウッド用留め付け金具は、千鳥配置になるように施工してください。

○モダンウッド用見切り材の施工

・出隅、軒天などの納めはモダンウッド用見切り材を使います。モダンウッド用見切り材を留め付ける際は、ステンレス製の皿ビスまたはくぎ（長さ38mm以上）を使用してください。詳細は、７．納まり図の出隅（P19）、軒天（P23～24）などを参照してください。

○モダンウッド用留め付け金具で本体を納められない場合

・モダンウッド用留め付け金具で納まらない場合は、本体を胴縁に脳天留め付けしてください。留め付けの際は、本体と105用断熱プレートiの間に構造用合板などのスペーサーを入れ不陸が出ないように高さ調整を行ってください。脳天打ちをする位置により、厚さが違いますので、入れる際に位置を確認してください。
・詳細は、７.納まり図の入隅（P21）、開口部（P27～28）などを参照してください。

○スカーフジョイントとは？

・本体の上下を30°の角度に切断し、水が本体の切断面にたまりにくいように、本体を継ぎ足すことです。
・モダンウッド用見切り材を上下接合する場合も同様にスカーフジョイントで納めてください。
・耐久性保持のため切断加工面には、塗料を塗布してください。

9 開口部の施工

○開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)の施工

・図のように開口部捨板を切り欠いてください。①〜③の順序で、施工します。

○防水テープの施工

・開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)の重なり部分に、防水テープを貼ってください。
・開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)とサッシの間は、シーリング材を施工してください。開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)には、あらかじめボンドブレーカーが貼られています。

開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)をつなぐ場合

・捨板をつなぐ場合は、突き付けとし防水テープを貼ってください。

・止水性を確保するために、105用断熱プレートiを施工する前に、パッキン材C(P17)または捨てシーリング(P18)を施工してください。

○開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)にパッキン材Ｃを施工する場合

止水性を確保するため、開口部上はパッキン材Ｃは、30～50mm程度横に貼ってから、開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)の立ち上がりまで貼ってください。

開口部上
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
1
開口部右
パッキン材Ｃ
パッキン材Ｃ
のり面
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
パッキン材Ｃ
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
開口部左
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
パッキン材Ｃ
2
のり面
パッキン材Ｃ
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
パッキン材Ｃ
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
パッキン材Ｃ
開口部下

上図のようにパッキン材Ｃを貼ってください。

1 開口部上と開口部左右の隅部
開口部上は、鉛直方向に壁面に貼り90°折り曲げ、水平方向に貼り、隅部で90°折り曲げ開口部左右の壁面に貼ってください。開口部上の中央部は、パッキン材Ｃを施工しないでください。

2 開口部左右と開口部下の隅部
開口部左右は、パッキン材Ｃを壁面に貼り、隅部では余裕を持たせて、ＥＰＤＭ(パッキン材Ｃ)を90°にひねり曲げ、開口部下の捨板の幅面に貼ってください。

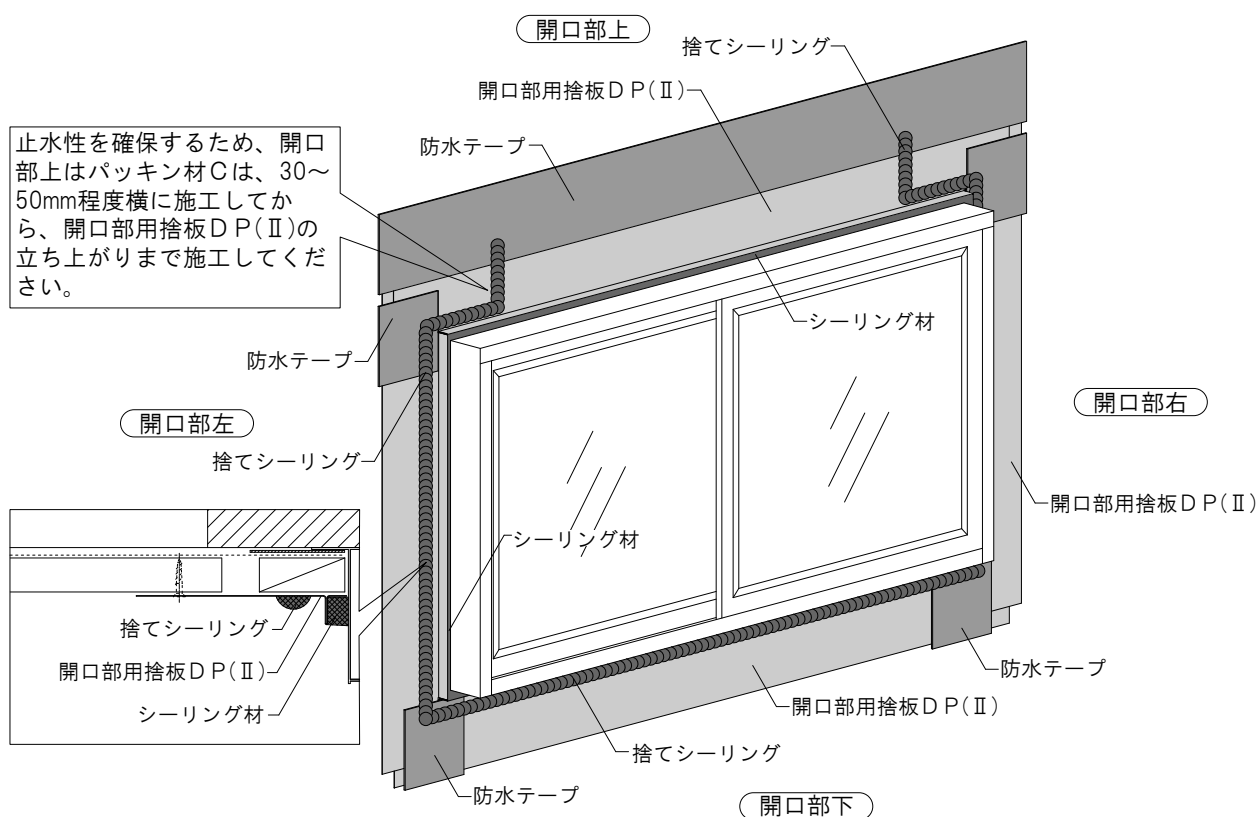
注意：開口部(上下左右)の隅部では、パッキン材Ｃを切断しないでください。パッキン材Ｃは、50%圧縮することにより、水密性が保たれます。

・105用断熱プレートiの施工

○開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)に捨てシーリングを施工する場合

開口部上
捨てシーリング
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
防水テープ

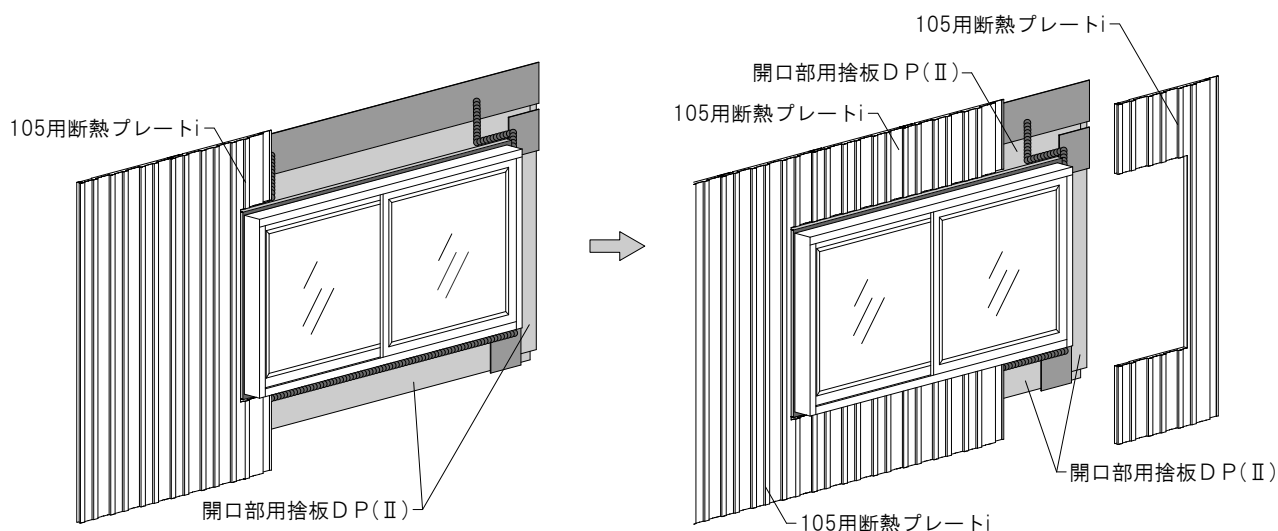
止水性を確保するため、開口部上はパッキン材Ｃは、30～50mm程度横に施工してから、開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)の立ち上がりまで施工してください。

シーリング材
防水テープ
開口部左
開口部右
捨てシーリング
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
シーリング材
捨てシーリング
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
シーリング材
防水テープ
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
捨てシーリング
防水テープ
開口部下

◎上図のようにシーリングを施工してください。

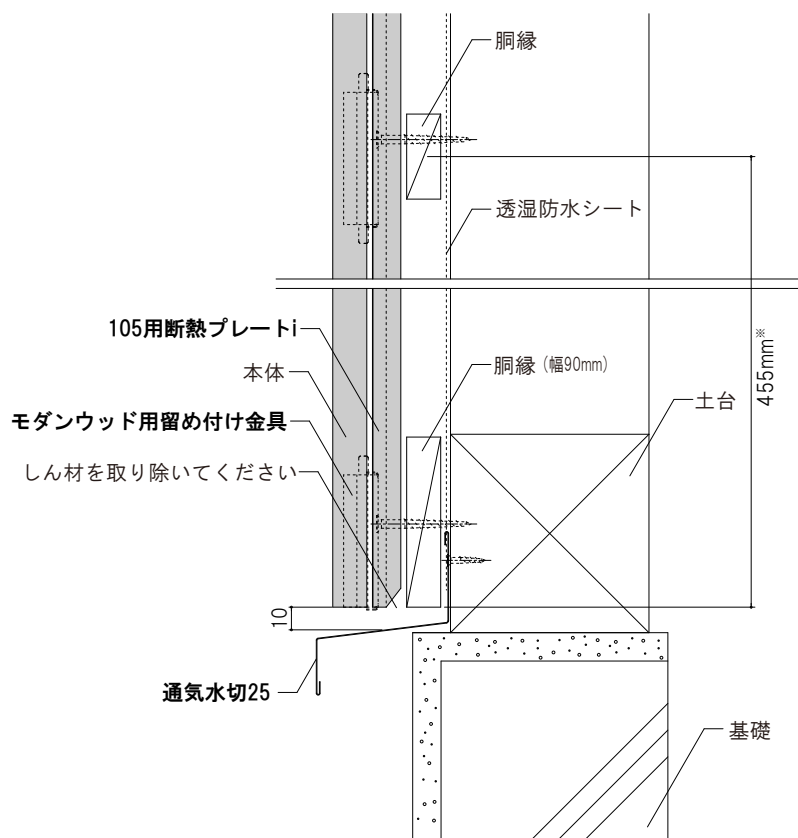
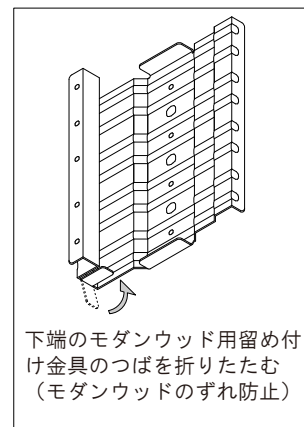
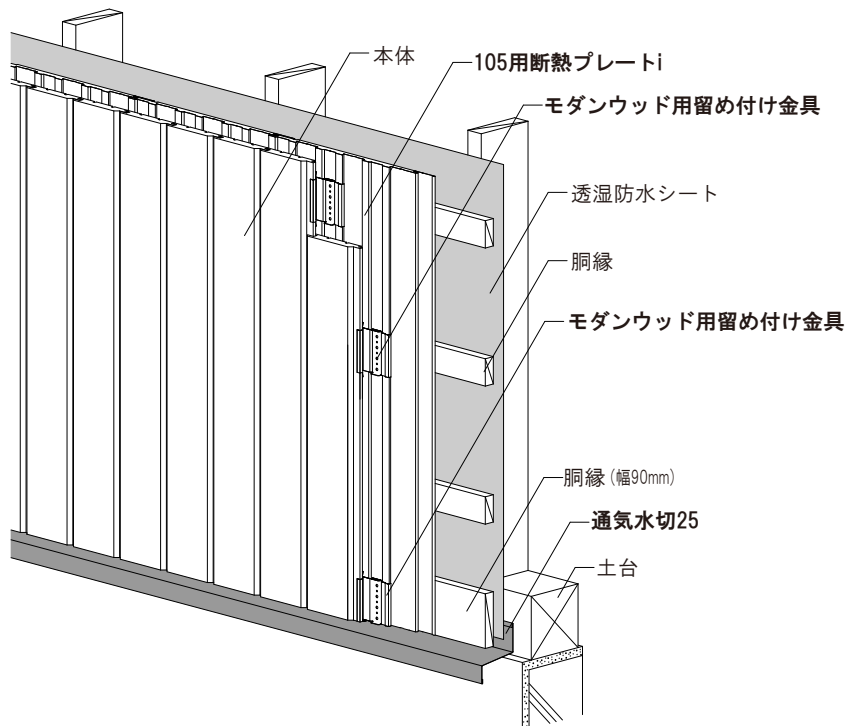
・開口部上では、開口部左右に水が回らないように、鉛直方向に捨てシーリングを立ち上げてください。開口部上の中央部は、捨てシーリングを施工しないでください。

注意：開口部(上下左右)の隅部では、捨てシーリングが途切れないように施工してください。捨てシーリングは、開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)と105用断熱プレートiとの間で密着できるように位置を調整して施工してください。

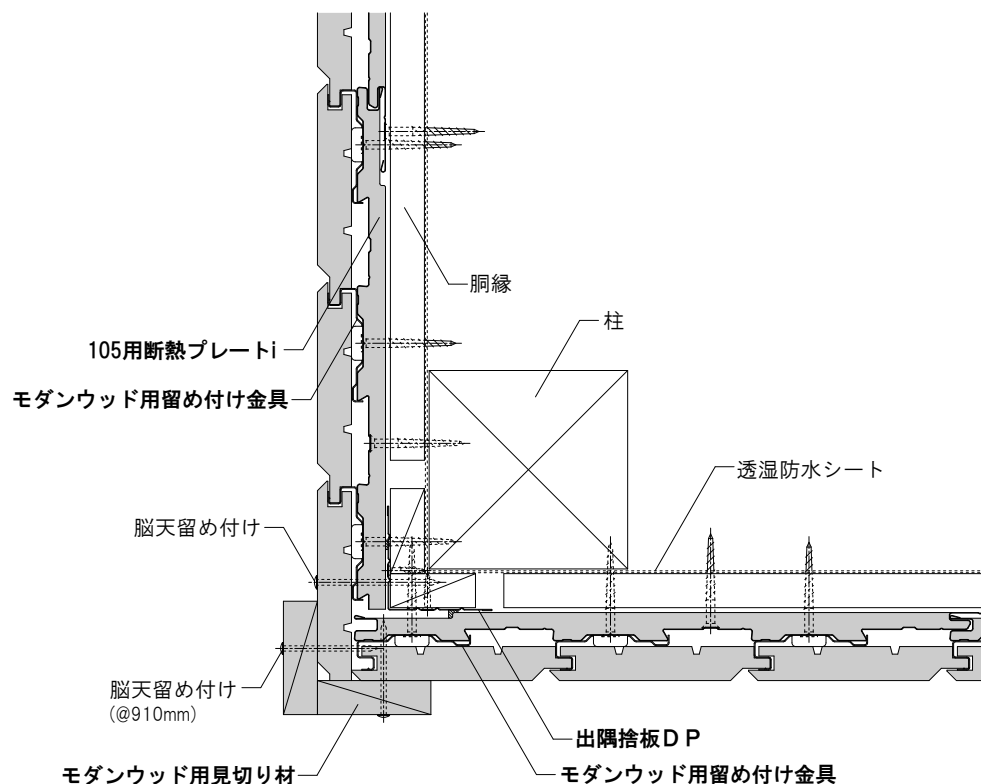
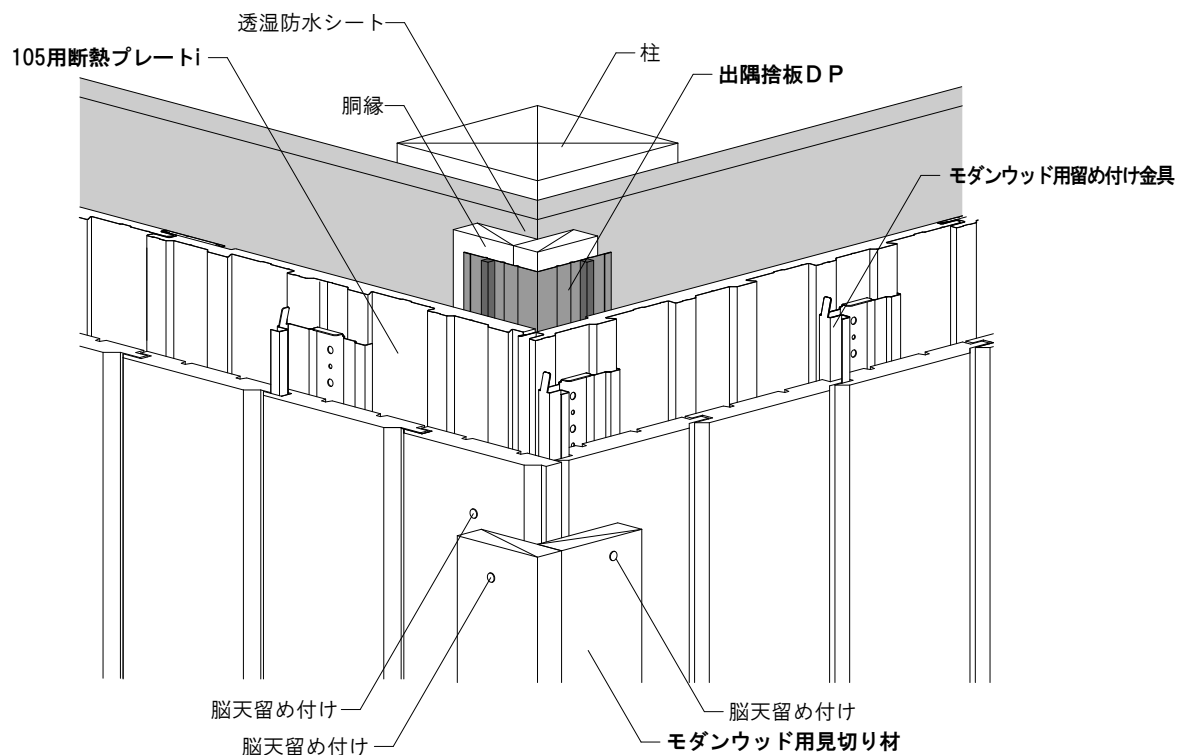
・105用断熱プレートiの施工

サッシと開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)の間に、シーリング材が施工されている事と開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)に捨てシーリングが施工されている事を確認してから、105用断熱プレートiを施工してください。

A．土台

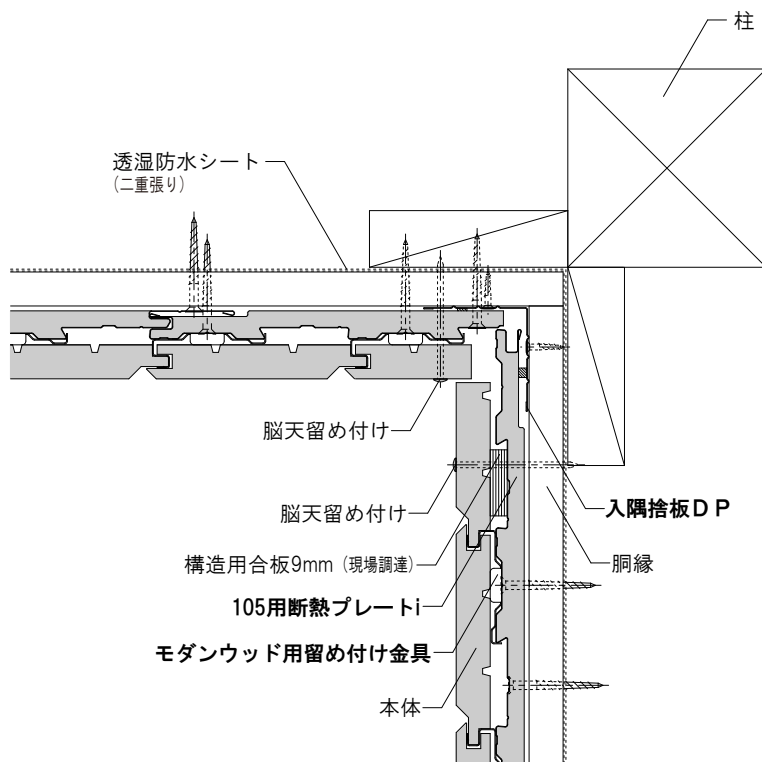
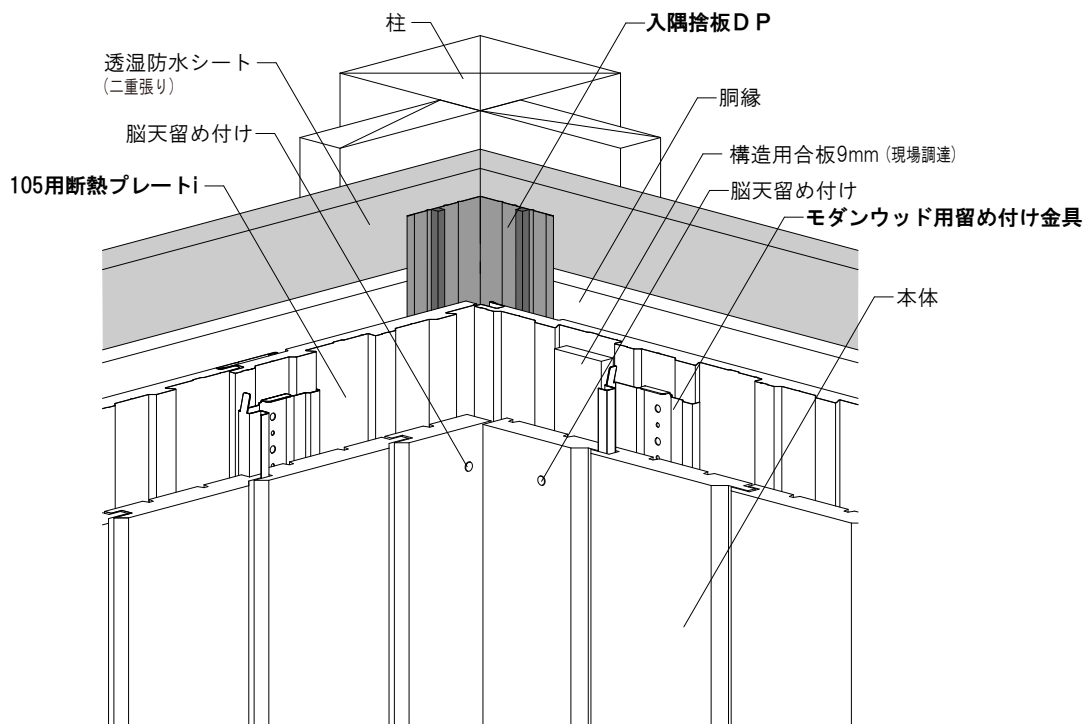
使用付属品：通気水切25

○本体と通気水切25の間は、雨水が滞留しないよう10mm程度あけて施工してください。
○張り始めは、モダンウッド用留め付け金具のつばを折りたたみ本体を支持してください。
○通気の出入り口には、必要に応じて防虫網を取り付けてください。
※本体の長さは、ひのきが1,820mm、杉が3,640mmです。910mm間隔でモダンウッド用留め付け金具を留め付けられるように、最下段の胴縁を割り付けてください。モダンウッド用留め付け金具は必ず胴縁に留め付けてください。

B．出隅

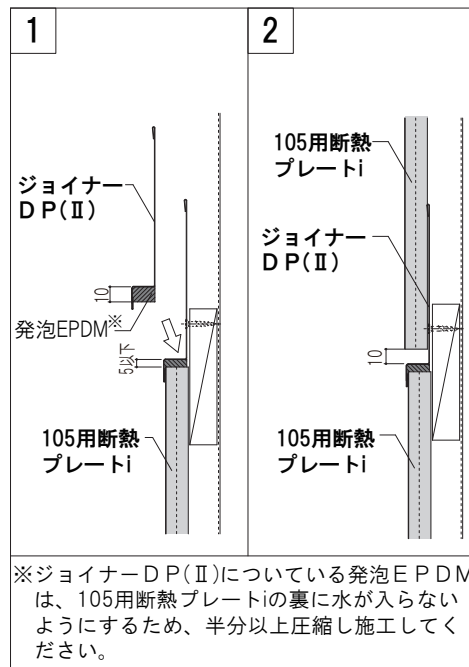
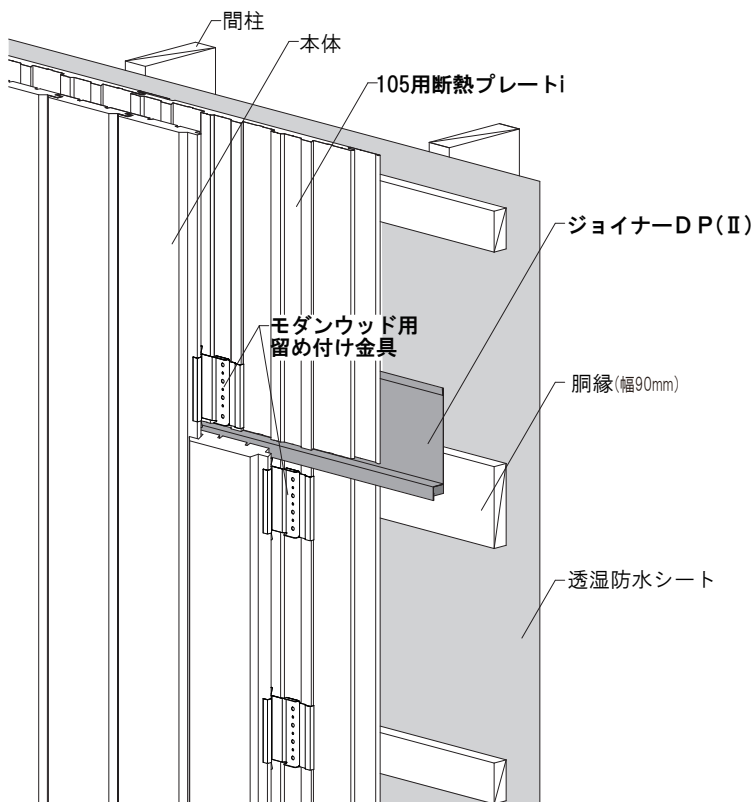
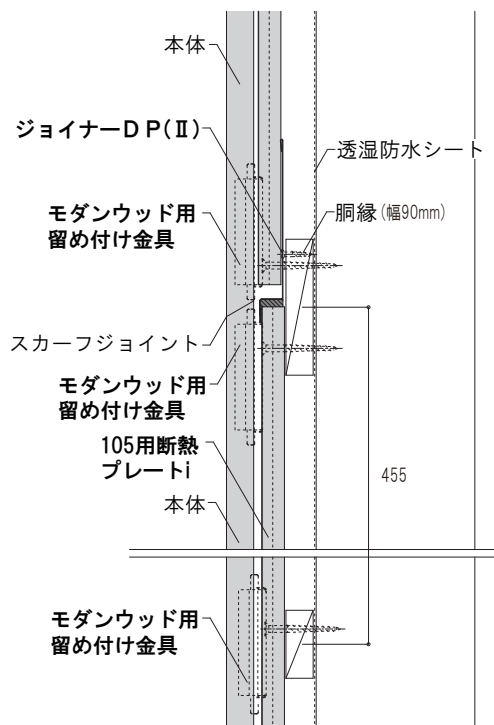
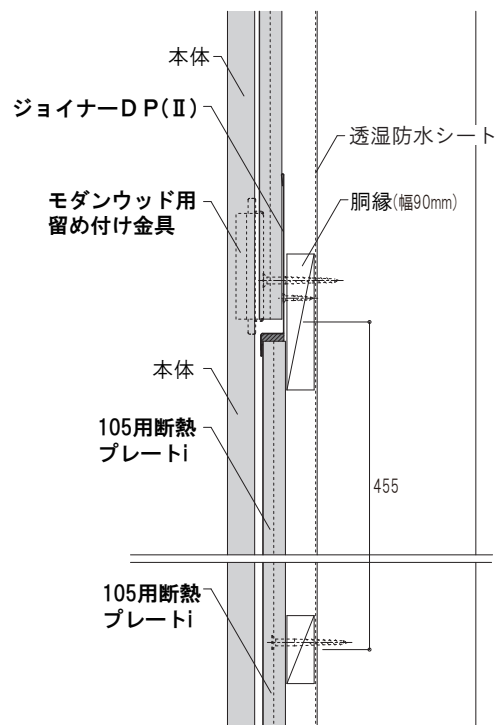
使用付属品：出隅捨板ＤＰ/モダンウッド用見切り材

〇モダンウッド用見切り材は本体に留め付けてください。
〇モダンウッド用見切り材を上下で接合する場合は、スカーフジョイントで納めてください。
〇出隅部がモダンウッド用留め付け金具で納まらない場合は、本体を胴縁に脳天留め付けしてください。留め付けの際は、本体と105用断熱プレートiの間に構造用合板などを入れ不陸が出ないように調整してください。留め付け位置が本体端部に寄り過ぎると割れるおそれがありますので注意してください。

C．入隅

使用付属品：入隅捨板ＤＰ

○本体はどちらか一方をのみ込ませ、2mm程度空目地としてください。
○入隅部がモダンウッド用留め付け金具で納まらない場合は、本体を胴縁に脳天留め付けしてください。留め付けの際は、本体と105用断熱プレートiの間に構造用合板などを入れ不陸が出ないように調整してください。留め付け位置が本体端部に寄り過ぎると割れるおそれがありますので注意してください。

D．縦継ぎ

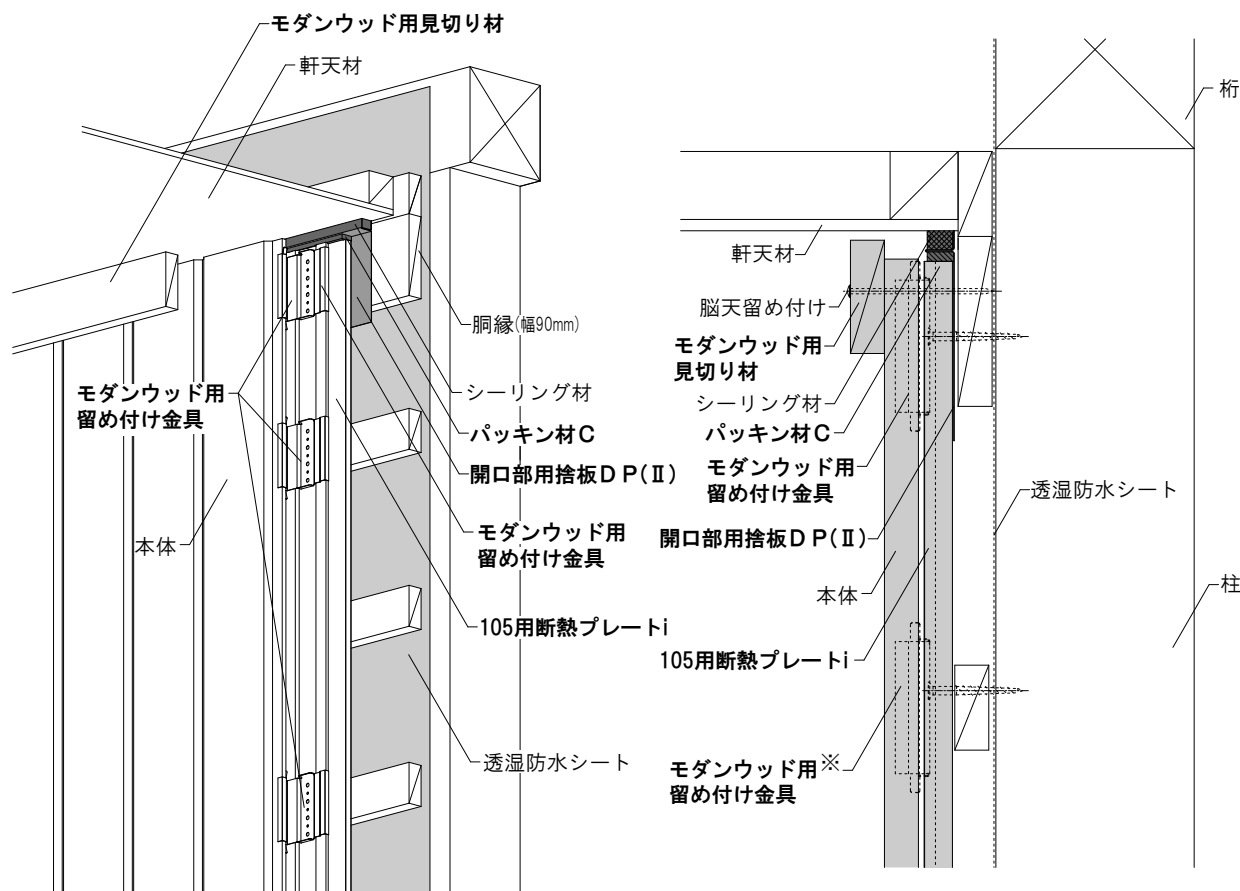
使用付属品：ジョイナーＤＰ(Ⅱ)

○縦継ぎ部上下の105用断熱プレートiに段差が生じないよう注意して施工してください。
○1～2の順序でジョイナーＤＰ(Ⅱ)を施工してください。発泡ＥＰＤＭは、水密性を発揮するために半分以上圧縮してください。
○スカーフジョイントを105用断熱プレートiの縦継ぎ部で設ける場合は、モダンウッド用留め付け金具を上下に入れてください。
本体（ひのき）の場合も同様です。

E．軒天①

使用付属品：モダンウッド用見切り材/開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)/パッキン材Ｃ

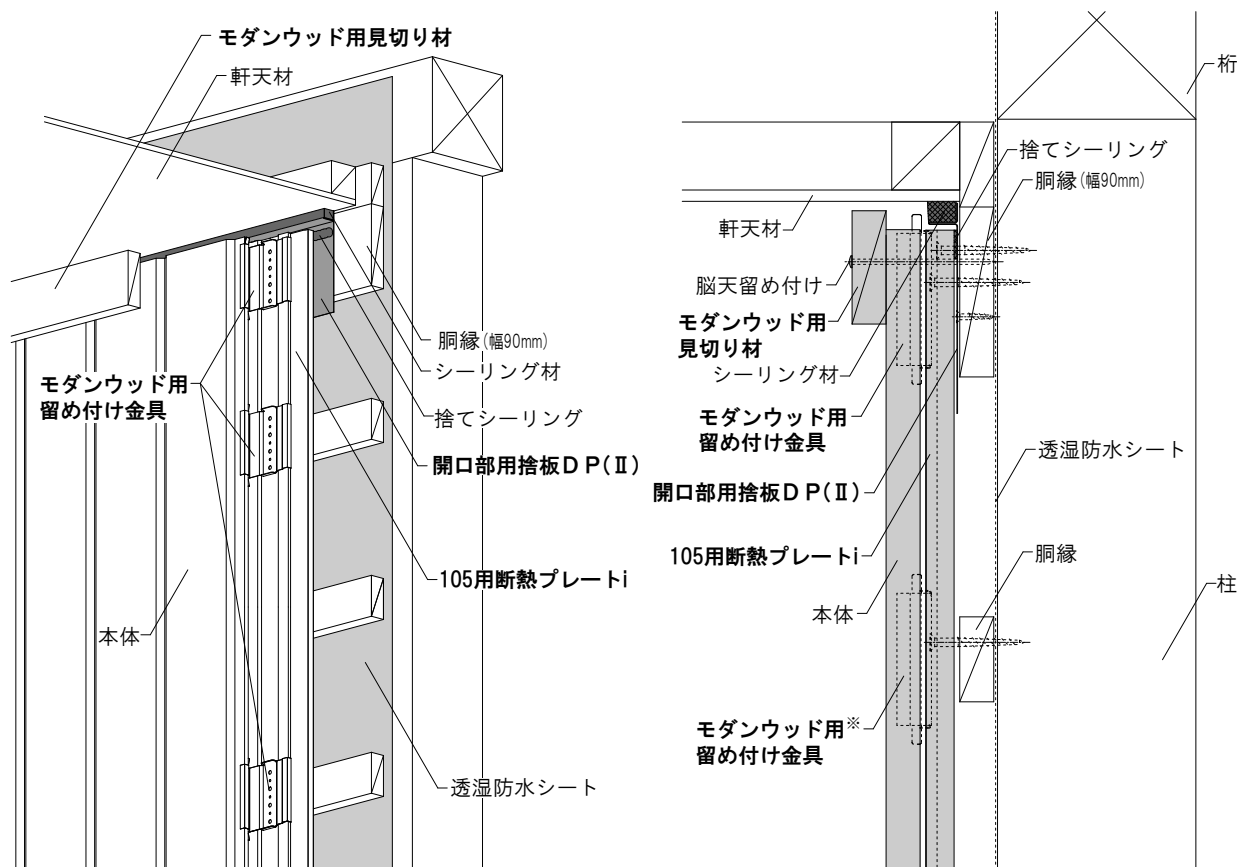
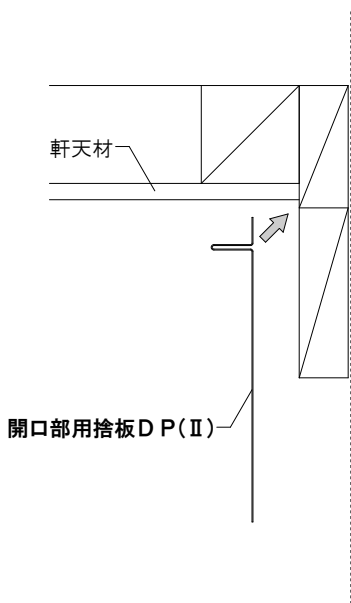
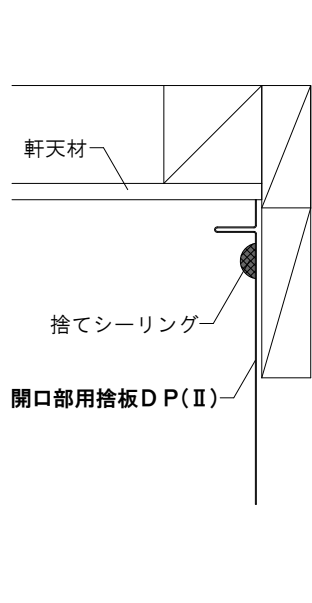
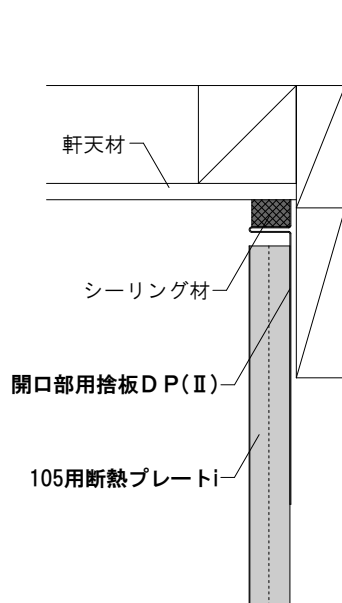
○下の1～3の順序で施工してください。パッキン材Ｃは、105用断熱プレートiの裏面に水が入らないように半分以上圧縮してください。
○一番上の本体端部は、モダンウッド用留め付け金具で留め付けてください。
○モダンウッド用見切り材は、軒天材から5mm程度のすき間をあけて、本体に脳天打ちしてください。

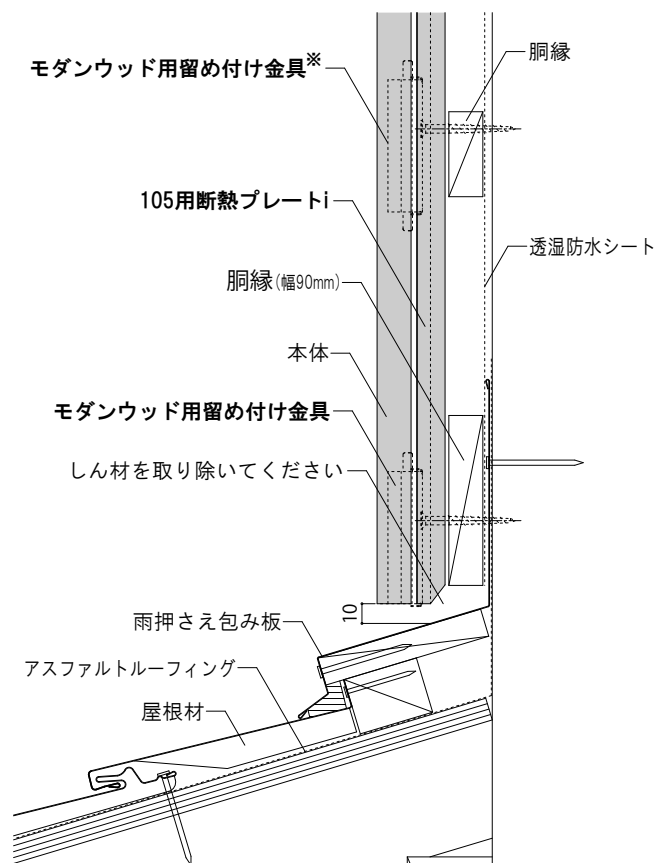
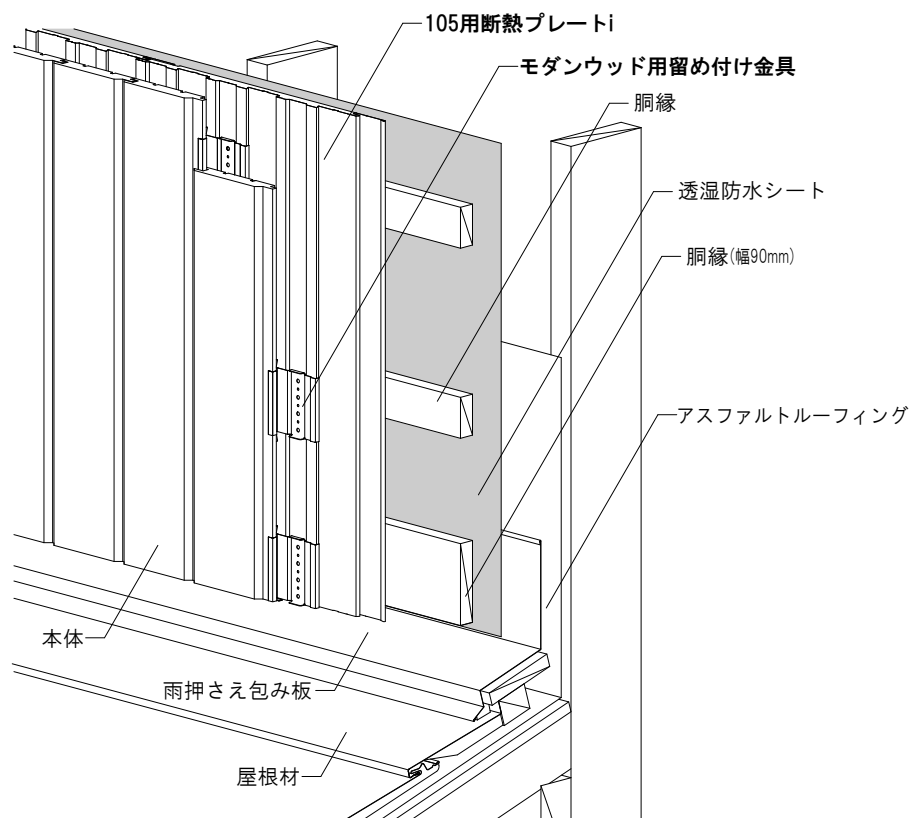
モダンウッド用見切り材
軒天材
胴縁(幅90mm)
シーリング材
パッキン材Ｃ
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
モダンウッド用留め付け金具
105用断熱プレートi
透湿防水シート
モダンウッド用留め付け金具
本体

桁
軒天材
脳天留め付け
モダンウッド用見切り材
シーリング材
パッキン材Ｃ
モダンウッド用留め付け金具
開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)
透湿防水シート
本体
柱
105用断熱プレートi
モダンウッド用留め付け金具※

※配置により、有りまたは無し。

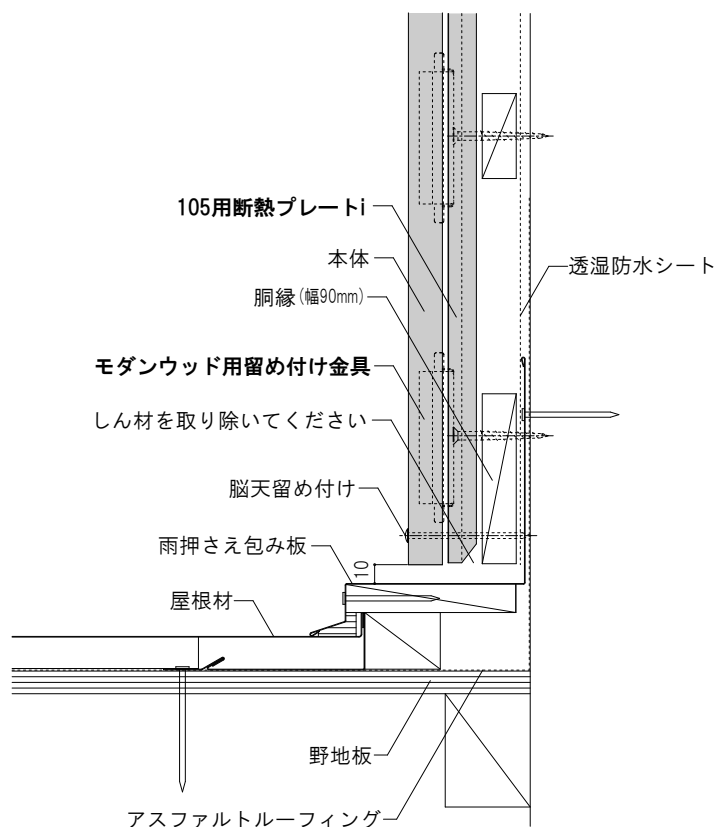
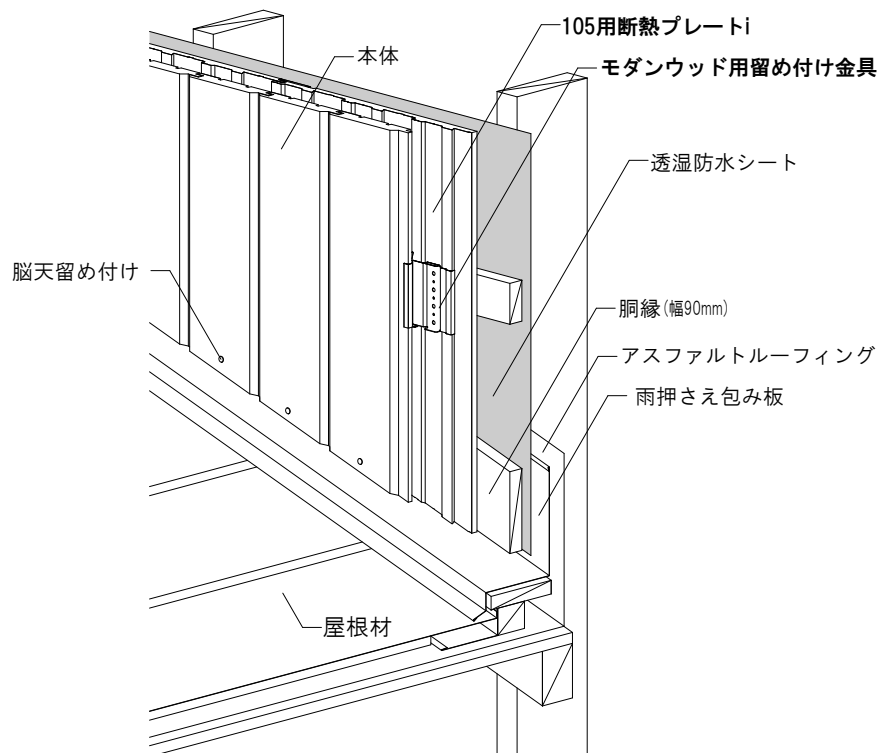
E．軒天②

使用付属品：モダンウッド用見切り材/開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)

○下の1～3の順序で施工してください。
○一番上の本体端部は、モダンウッド用留め付け金具で留め付けてください。
○モダンウッド用見切り材は、軒天材から5mm程度のすき間をあけて、本体に脳天打ちしてください。

※配置により、有りまたは無し。

F．下屋見切り① ［流れと垂直な壁］

〇雨押さえ包み板の立ち上がり寸法は十分に取ってください。
〇本体の下端と雨押さえ包み板の間は、雨水が滞留しないよう10㎜程度あけて施工してください。
〇本体最下段の割り付けが合わない場合は、本体を切断して納めてください。
〇通気の出入り口には、必要に応じて防虫網を取り付けてください。

※配置により、有りまたは無し。

F．下屋見切り② ［流れと平行な壁］

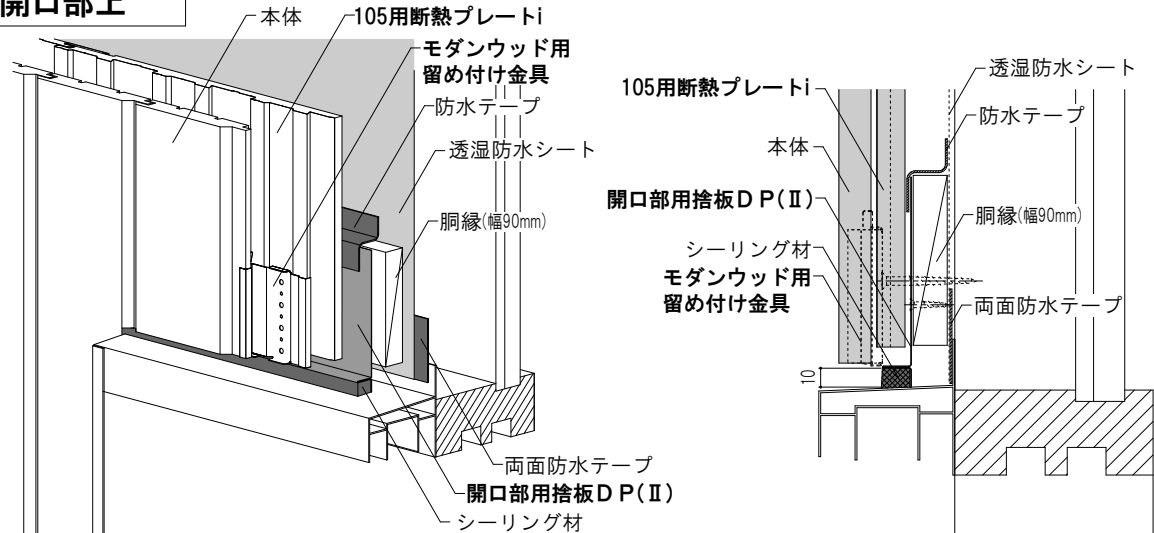
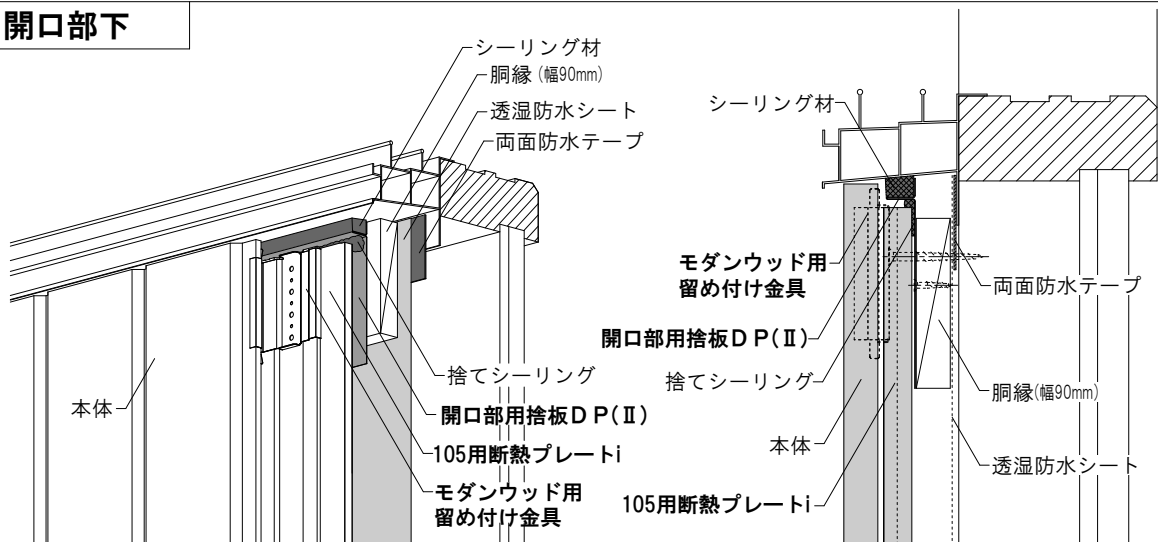
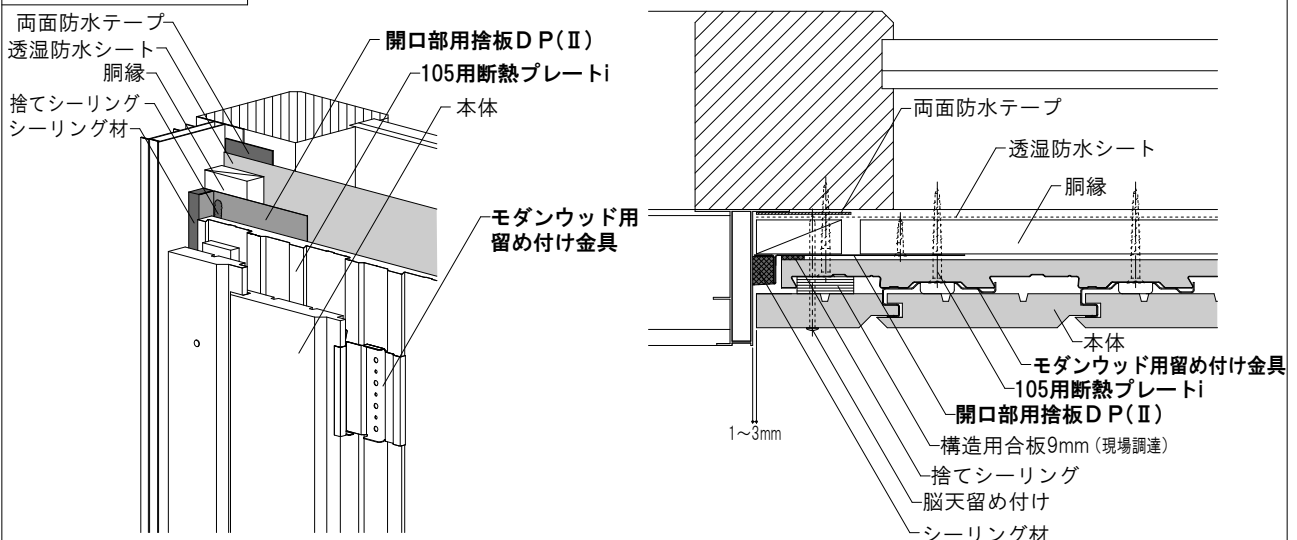
〇雨押さえ包み板の立ち上がり寸法は十分に取ってください。
〇本体の下端と雨押さえ包み板の間は、雨水が滞留しないよう10mm程度あけて施工してください。
〇流れと平行な下屋の場合、本体下部の切断形状により、モダンウッド用留め付け金具のつばによるおさえがききません。
　脳天留め付けにより、本体を支持してください。
〇通気の出入り口には、必要に応じて防虫網を取り付けてください。

G．開口部①

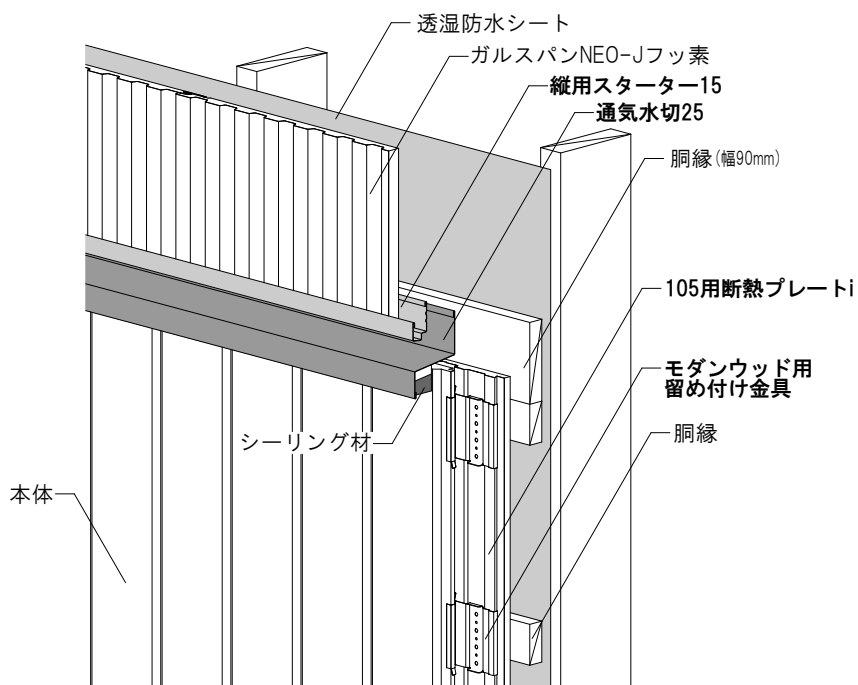
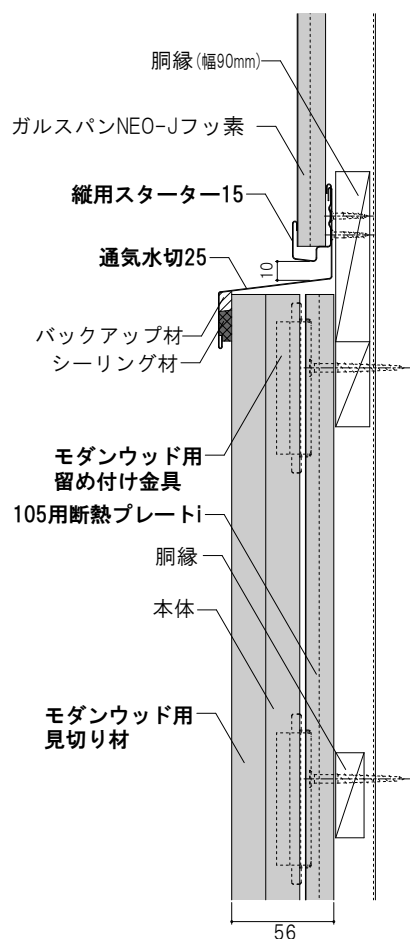
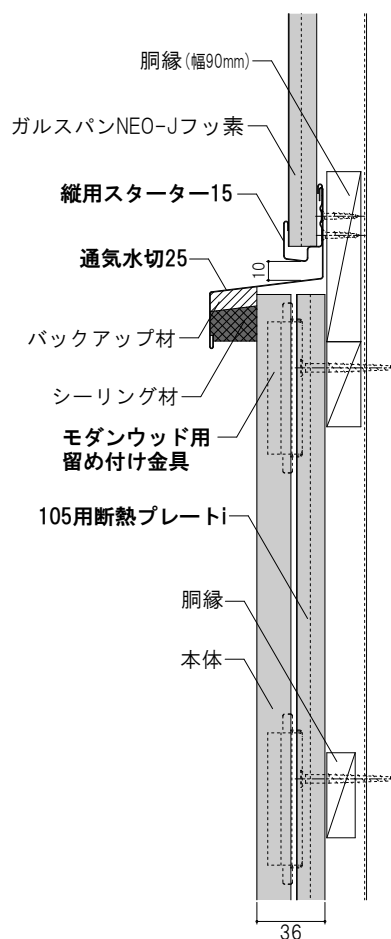
使用付属品：開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)／パッキン材Ｃ

〇開口部上では、サッシと本体の下端の間は雨水が滞留しないよう10mm程度あけて施工してください。
〇モダンウッド用留め付け金具で納まらない場合は、本体を胴縁に脳天留め付けしてください。留め付けの際は、本体と105用断熱プレートiの間に構造用合板などを入れ不陸が出ないように調整してください。留め付け位置が本体端部に寄り過ぎると割れるおそれがありますので注意してください。
〇本体とサッシの取り合いにはシーリング材を施工しないでください。

Ｇ．開口部②

使用付属品：開口部用捨板ＤＰ(Ⅱ)

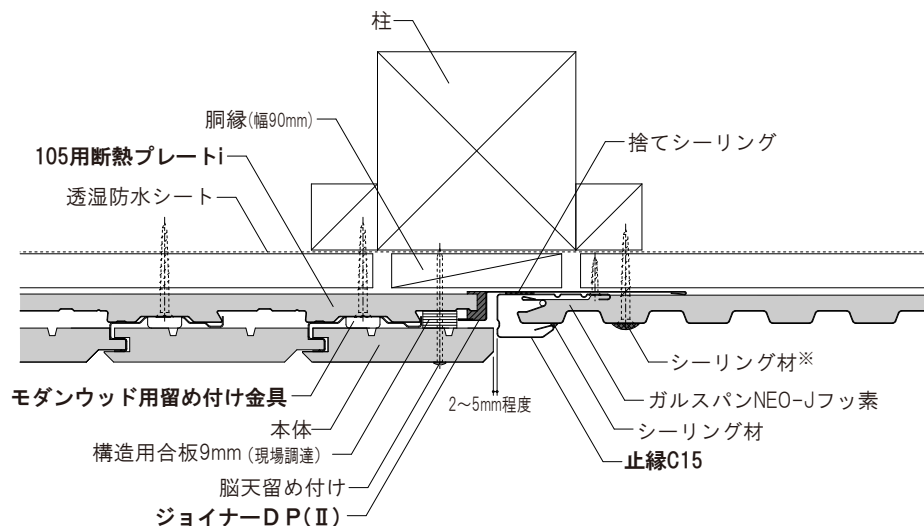
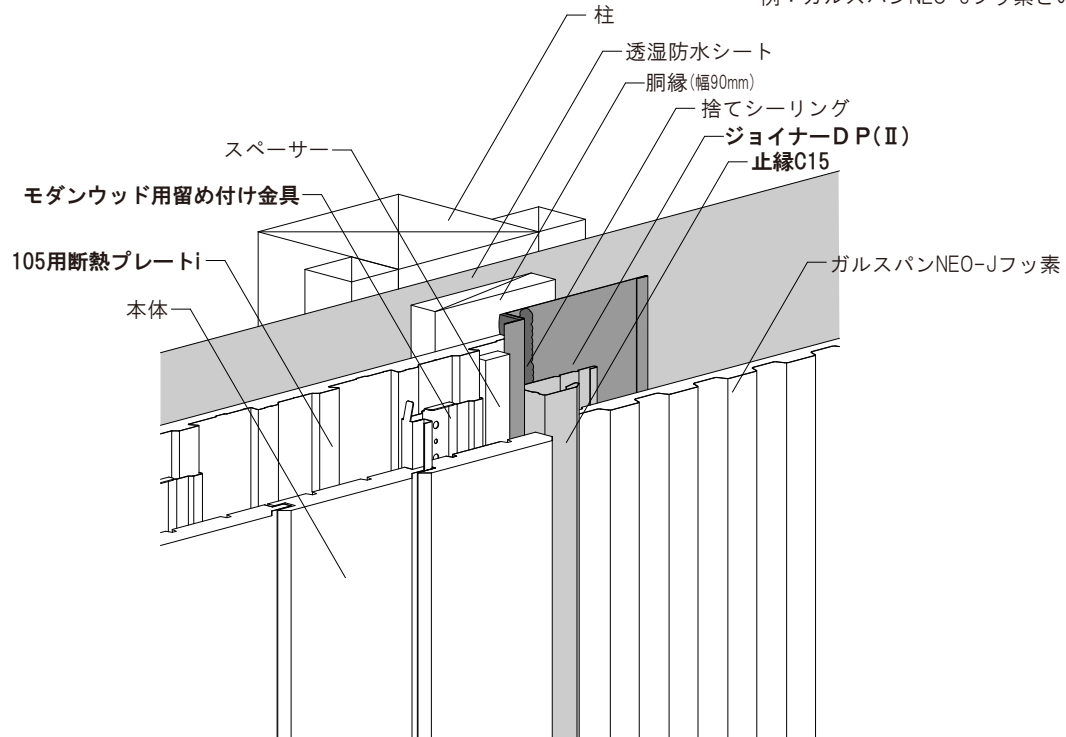
○開口部上では、サッシと本体の下端の間は雨水が滞留しないよう10mm程度あけて施工してください。
○モダンウッド用留め付け金具で納まらない場合は、本体を胴縁に脳天留め付けしてください。留め付けの際は、本体と105用断熱プレートiの間に構造用合板などを入れ不陸が出ないように調整してください。留め付け位置が本体端部に寄り過ぎると割れるおそれがありますので注意してください。
○本体とサッシの取り合いにはシーリング材を施工しないでください。

H．他の外壁材との張り合わせ①　[上下]

○縦用スターター15と通気水切25の間は、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて施工してください。

Ｈ．他の外壁材との張り合わせ②　［左右］

使用付属品：ジョイナーＤＰ(Ⅱ)

○他の外壁材と張り合わせをする際は、縦目地部分にジョイナーＤＰ(Ⅱ)を使用します。
○ジョイナーＤＰ(Ⅱ)についている発泡ＥＰＤＭは、105用断熱プレートiで半分以上圧縮してください。
○本体と他部材の間は、2～5mm程度のすき間をあけてください。

例：ガルスパンNEO-Jフッ素との張り合わせ

柱
透湿防水シート
胴縁(幅90mm)
捨てシーリング
ジョイナーＤＰ(Ⅱ)
止縁C15
スペーサー
モダンウッド用留め付け金具
105用断熱プレートi
本体
ガルスパンNEO-Jフッ素

※ くぎまたはねじ頭には、シーリング材の代わりにタッチアップペイントでの塗装も可

免責事項

次のような場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

・施工店様による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
・入居者の維持管理の不注意・装置の取り付け・改修・改築により不具合が生じた場合。
・入居者または第三者の故意・過失などにより不具合が生じた場合。
・天変地異・周辺環境・大気汚染・塩害などの特殊環境下で不具合が生じた場合。
・通常の経年変化による変色・汚れなどが生じた場合。
・建物の構造体に起因した変形・変位が原因で不具合が生じた場合。
・シーリング部及び、現場塗装により不具合が生じた場合。
・モダンウッド本体、105用断熱プレートi及び付属品に付着した切粉・加工屑・落ち葉・
　動物の排出物・粉塵などが原因で不具合が生じた場合。
・水が滞留する部分の塗膜損傷及び電食作用が原因で不具合が生じた場合。
・くぎ部のさびまたはもらいさび、及びカビよる汚染などが生じた場合。
・建築基準法及び、関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
・外壁以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。

その他ご不明な点などありましたら弊社にご相談ください。

アイジー工業株式会社 URL http://www.igkogyo.co.jp/

営業所	郵便番号	住所	TEL	FAX
本　　社	〒999-3716	山形県東根市蟹沢上縄目1816-12	☎0237(43)1810	FAX 0237(41)1810
東京営業所	〒101-0054	東京都千代田区神田錦町1-17-5 神田橋PR-EX8F	☎03(5283)7211	FAX 03(5283)7213
札幌営業所	〒003-0026	札幌市白石区本通19丁目南2-7 食糧ビル5F	☎011(863)0303	FAX 011(860)2084
盛岡営業所	〒020-0022	盛岡市大通3-3-10 七十七日生盛岡ビル7F	☎019(605)8050	FAX 019(605)8051
仙台営業所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡4-12-12 MB小田急ビル5F	☎022(292)5405	FAX 022(292)5406
関東営業所	〒330-0843	さいたま市大宮区吉敷町1-92-3 至誠堂ビル2F	☎048(658)1600	FAX 048(658)1602
新潟営業所	〒950-0912	新潟市中央区南笹口1-1-54 明治安田生命新潟駅南第二ビル6F	☎025(240)6718	FAX 025(240)6719
富山営業所	〒930-0004	富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル3F	☎076(443)8621	FAX 076(443)8622
名古屋営業所	〒452-0822	名古屋市西区中小田井5-404-1 愛法ビル2F	☎052(506)9898	FAX 052(506)9899
大阪営業所	〒562-0036	大阪府箕面市船場西2-2-1 ニューエリモビル6F	☎072(749)3188	FAX 072(749)3199
福岡営業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル2F	☎092(474)5564	FAX 092(474)5574

この施工説明書に掲載の商品は専門施工を必要とします。施工は専門施工店にご依頼ください。

●お問い合わせは下記代理店へどうぞ

商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合があります。本施工説明書が最新版であることを最寄りの営業所まで確認してください。